

芸劇 BUZZ

TOKYO METROPOLITAN THEATRE EVENT INFORMATION

vol.7 2014
4.5.6.



特集・PICKUP

作・演出 三谷幸喜

「酒と涙とジキルとハイド」

TACT/FESTIVAL 2014

「リメディア〜いま、ここで」

「ハンスはハイリ〜どっちもどっち?!」ほか

eyes plus・芸劇dance ほか

範宙遊泳

KENTARO!!

マームとジプシー

モモンガ・コンプレックス⇒珍しいキノコ舞踊団

勅使川原三郎ディレクションUI8ダンスWS ほか

クラシカル・プレイヤーズ東京

芸劇ユース・ウインド・オーケストラ

フランス国立リヨン管弦楽団

アルド・チッゴリーニ ピアノ・リサイタル

ザ・フィルハーモニクス

2014年度 音楽年間ラインナップ ほか

座談会

野田秀樹 × デヴィッド・ルヴォー with 長谷部浩

シリーズ講座

「池袋学」

大道芸

第9回

回遊美術館

CALENDAR

4月・5月・6月

INFORMATION

貸出施設案内 ほか

酒と涙とジキルとハイド

笑い過ぎで人格が変わる!? 英国が舞台の劇薬コメディ

もし、飲むだけで“もう一人の自分”になれる薬があったら……。三谷幸喜が新作の題材に選んだのは、あの『ジキルとハイド』だった！片岡愛之助、優香、藤井隆という芸達者なキャストを得て、笑いを徹底的に追求するという三谷流喜劇の神髄を目撃せよ！！

藤原竜也、中村勘太郎(現・中村勘九郎)、吹石一恵のフレッシュトリオで、歌人・石川啄木の愛と人生をほろ苦くつづった『ろくでなし啄木』(2011)、芸術監督・野田秀樹をフランスの英雄ナポレオンに配し、内野聖陽ら実力派キャストとともに、流刑にされたナポレオンの晩年と死の真相をミステリー・タッチで描き出した『おのれナポレオン』(2013)。話題作が続く東京芸術劇場のラインナップの中でも、そのクオリティと高いエンタテインメント性で、常に耳目を集めて来た三谷幸喜作品。同劇場での三作目となる新作書き下ろし『酒と涙とジキルとハイド』の上演が、4月に決定した。

今回も男優2人、女優1人の小さなカンパニーだが、ドラマやCMなど映像作品での躍進も著しい歌舞伎俳優の片岡愛之助、これが初舞台となる優香、NODA・MAPにも二度の出演を果たしているマルチ・タレント藤井隆と

いう魅力的な顔ぶれを見るにつけ、作品への期待は否応なく高まってくる。

劇作、演出を手掛ける三谷が「喜劇作家は僕の生涯の肩書きですが、ここ数年はシリアスな創作が続いていました。そこで今回は久々に原点復帰し、爆笑に次ぐ爆笑の“コメディの神髄”とも言うべき作品をつくりたいと思ったんです」と意気込む、今作の舞台となるのは19世紀末のロンドン。映画やミュージカルでおなじみの、“飲めばたちまち別人格”になる薬を開発するジキル博士の実験室で、新薬をめぐる博士の恋人や謎の俳優(?)が繰り広げるスラップスティック&シチュエーションコメディ……らしい。もちろん、2月末時点

で作品の全貌を知るのは、三谷幸喜ただ一人である。とはいえ、演じる俳優にあてて魅力的な登場人物を生み出すことに定評のある三谷だけに、出演者への想いを語る言葉はアツい。「映像で見る愛之助さんのエッジの利いた演技は、コメディ向きだと思っていたんです。そもそも歌舞伎俳優さんはコメディ・センスに優れた方が多い。この舞台でコメディアンとして新しいステップを踏み出していただけたら嬉しいですね。優香さんはずっと以前から舞台に誘っていて。志村けんさんとの“バカ殿”コントは見るたびに素晴らしく、毎回僕は感動していたんですよ。あの思い切りの良さは、絶対に舞台向きです。藤井さんは僕が初めて演出したチャーホフの『桜の園』に出演してくださったのですが、確かな技術と鋭い感性で、僕が意図した以上に僕の狙いを演技で具現化してくださる有難い俳優さんで。今

回僕は、この舞台を喜劇人・藤井隆の代表作にしたいと思っています。」(三谷)

一方、「06年の正月ドラマ『新選組!! 土方歳三最期の一日』以来、また三谷さんの作品に出たいと願っていました。念願がなつての今回。喜劇はほぼ初体験ですが、三谷さんという予測不能な天才を信じて、最後までついていきたい。」(愛之助)、「演劇は大好きですが観るだけで充分と思っていた私を、ずっと誘い続けてくださった三谷さんの言葉と、ここ数年、新しいことに挑戦したい気持ちが膨らんでいたことが一致し、舞台出演を決めました。人生一度の“初めて”を、33歳の今、こんな素敵なお方たちと一緒できるのはとても嬉しくて光栄です。」(優香)、『『桜の園』の打ち上げで『また一緒に舞台をやりましょう』と言ってくださった三谷さん。こんなに早く約束を守ってくださったことに、心から感謝しています。楽しくて、たくさん勉強になる三谷さんの稽古場に参加できることが、待ち遠しくてたまりません。」(藤井)などと、俳優たちから寄せられた言葉にも大きな期待が感じられる。

加えて迫田孝也と、パーカッショニスト・高良久美子らミュージシャン二人が生演奏で参加。舞台上で起こる笑いとは対照的に、盛り上げてくれること必至だ。

一作ごとに自身を進化させ、日本の演劇シーンに新たな章を書き加える男・三谷幸喜。その最新にして最高の笑いが、劇場を揺らすと

構成・文：尾上



酒と涙とジキルとハイド
4月10日(木)～30日(水) プレイハウス
※プレビュー公演 8日(火)、9日(水)
作・演出：三谷幸喜
出演：片岡愛之助、優香、藤井隆 ほか



片岡愛之助



優香



藤井隆



三谷幸喜

詳細はP9へ

主催：フジテレビ／ホリプロ 共催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 協力：松竹株式会社 企画制作：ホリプロ

TACT/FESTIVAL 2014

5月3日(土・祝)～6日(火・休)、9日(金)～11日(日) プレイハウス／シアターイースト／アトリエイースト／ロワー広場

詳細はP11、P15へ

カミーユ・ボワテル
「リメディア～いま、ここで」
Camille Boitel “L’immédiat”
5月3日(土・祝)～6日(火・休) プレイハウス
構成・出演：カミーユ・ボワテル、マリヌ・ブローズ、アルド・トマ、パスカール・ル・コー、トマ・ド・ブローシア、ジャック・ブノワ・ダルダン
構成補：ジェレミー・ギャリー、ブノワ・ファンケール、マルタン・ゴートロン

フランス発“ヌーヴォー・シルク”の奇才、 カミーユ・ボワテルに聞く。

カミーユ・ボワテルは、今、フランスでも注目を浴びるヌーヴォー・シルク界の異端児だ。幼い頃に父親を亡くし、フランス南部トゥールーズ近郊の小さな町で、母親の手ひとつで育てられた彼は、8才の時にたまたま町にやってきたサーカス団を見て、その魅力に取り付かれた。カミーユは、その後、たったひとりで練習を重ね、路上でパフォーマンスを見せては町の人たちを愉しませることに快感を覚えていく。そして14歳の時、母、そして幼い妹と三人で花の都パリに向かう。通信教育で中学の勉学をしながら、パリ近郊で妹と二人、路上パフォーマンスをしては生活費を稼ぐという生活が続け、その後、演出家のジェイムス・ティエレと出会い、いくつかの作品を共作後、テアトル・ドゥ・ラ・シテ・アンテルナショナルのサポートを得て、自らの作品を創作するようになる。

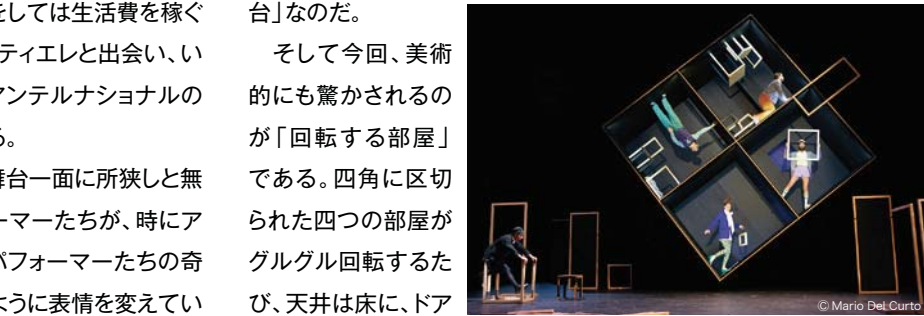
今回、上演される『リメディア』という作品は、舞台一面に所狭しと無造作に置かれた廃品の山の中を、6人のパフォーマーたちが、時にアクロバティックに、時にユーモラスに動き回る。パフォーマーたちの奇抜なアクションにより、舞台は手品でも見ているように表情を変えていく。まるで、舞台版“ヒタゴラスイッチ”のような作品だ。作品のテーマは“Fragilite”つまり「もろさ」「はかなさ」だとカミーユは語る。「最悪の事態が起きた時や恐怖を感じた時、矛盾するようだけど、自分が生きていることを強く実感するんだ。そのような、複雑で交じり合った感情そのものを舞台上で表現したい。」母国フランスはもとより、リトアニア、タイ、スロベニアなど世界各地を巡りながら収集したたくさんのガラクタと共に、彼らはやってくる。初来日。



カミーユ・ボワテル



© Vincent Beaume



© Mario Del Curto

(パリ市内にて) 取材：編集部

ズィメルマン エド・ペロ
「ハンスはハイリ～どっちもどっち?!」
Zimmermann & de Perrot “Hans was Heiri”
5月9日(金)～11日(日) プレイハウス
構想・演出・舞台デザイン：ズィメルマン エド・ペロ
構成：ディミトリ・ド・ペロ 振付：マルタン・ズィメルマン
出演：タレク・ハラビー、ディミトリ・ジュルド、ディミトリ・ド・ペロ、ゲール・サンティスティヴァ、メリッサ・フォン・ヴェビー、メティニー・ウォントラクーネ、マルタン・ズィメルマン

楽しくて、やがて惹かれる 摩訶不思議な世界

「難解なダンスはつまらない。アクロバットは途中で飽きてくる」という人は多い。たしかに舞台美術がメインでほとんど踊らない舞台もあれば、アクロバットの連発だけで終わってしまう舞台もある。両方の長所を併せ持った舞台は…… ありますとも。それは「アート・サーカス」等と呼ばれ、高い身体性と素晴らしい美術が融合している舞台だ。中でも人気と質において世界最高峰といえるのが、今回来日するズィメルマン エド・ペロなのである。昨年は振付作品『シュフ ウシュフ』における来日で高い評価を得たが、今回は満を持して自らのカンパニーによる公演である。

この『ハンスはハイリ』は代表作で、長く来日を心待ちにされていた。高い身体性は、アクロバットよりも一見日常的な動きを意表を突いた多彩な展開をさせることに使われる。つまり「優れてダンス的な舞台」なのだ。

そして今回、美術的にも驚かされるのが「回転する部屋」である。四角に区切られた四つの部屋がグルグル回転するたび、天井は床に、ドアは落とし穴にと姿を変える。その内や外でパフォーマンスが行われるのだが、見た目の意外性ばかりでなく、優れたライブ・アートとなっているのである。

この舞台には、ほかの舞台ではちょっと見られないような魔法がかけられている。日常と思われていたものが続々変転していくなかで(だからこそかもしれないが)、人々はより強固に「日常」を生き続けようとするのだ。それは滑稽だが、ときに切なくも真実の姿である。この舞台は無条件に楽しめる一方で、忘れられぬ思いを胸に残す。それはあなたの人生を確実にひとつ豊かにしてくれるに違いない。

文：乗越たかお (作家・ヤサぐれ舞踊評論家)


劇団コプス Corpus	劇団コプス Corpus	劇団BーFloor B-Floor Theatre
「夢見るための50の方法」	「ひつじ」	「ユーディの冒険」
5月9日(金)18:00/10日(土)16:45/11日(日)16:45 シアターイースト 500円(全席自由)	5月9日(金)15:30/10日(土)14:30/11日(日)14:30 ロワー広場 入場無料	5月9日(金)16:15/10日(土)15:15/11日(日)15:15 アトリエイースト 入場無料

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 東京都／東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)※東京文化発信プロジェクト事業

eyes plus 範宙遊泳「うまれてないからまだしねない」


4月19日(土)～27日(日) シアターイースト

詳細はP10へ



撮影：amemiya yukitaka
「さよなら日本—瞑想のまま眠りたい—」(2013)

作・演出：山本卓卓
出演：大橋一輝、熊川ふみ、
壺本幸良、伊東沙保、
大石将弘(ままごと)、椎橋綾那、
田中美希恵、名児耶ゆり、波佐谷聡、福原 冠



山本卓卓

今年27歳、若き作家が描くポジティブな未来

2007年に桜美林大学在学中の山本卓卓が旗揚げした範宙遊泳。テキストやイメージなど、舞台上に投影される鮮やかな二次元の要素が、三次元の俳優たちと有機的に絡まり合い、溶け合って“2.5次元の演劇”が立ち上がる。そんな独自の空間演出を駆使した作品群には、虚実や愛憎のあわいに横たわる真実への澄んだ眼差しと、毒や狂気を内包しつつもチャミングなユーモアが垣間見え、次の作品が気になるカンパニーとして成長中だ。

待望の新作で描かれるのは「終末」、人類が減びていくかもしれない話だとか。だとしても、その先にあるものを見せてくれるに違いないし、そこには山本が希求するポジティブで明るい未来の輝きが透けて見える。

1987年生まれの山本は今年27歳。芸劇の単独公演としては、最年少アーティストとして登場する彼らが仕掛けるマジカルなステージを、ぜひ目撃して欲しい。

主催：範宙遊泳 提携：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 助成：アーツカウンシル東京

芸劇dance 東京ELECTROCK STAIRS Vol.9 グループ作品 & KENTARO!!ソロ(2本立て)

5月21日(水)～25日(日) シアターイースト

詳細はP11へ



振付・音楽：KENTARO!!
出演者：横山彰乃、高橋萌登、
服部未来、泊麻衣子、
田代理絵、KENTARO!!



KENTARO!!

KENTARO!!とカンパニーが挑むダンスの新たな地平

ヒップホップをベースに構築した独自の表現で既存のスタイルを打ち破り、ダンスの新しい地平を切り拓くKENTARO!!。横浜ダンスコレクションR2008で「若手振付家のための在日フランス大使館賞」を受賞してフランス研修を経験、またトヨタコレオグラフィーアワード2008で「ネクステージ特別賞」と「オーディエンス賞」をダブル受賞、2010年に日本ダンスフォーラム賞受賞という、華やかな受賞歴を誇る気鋭のダンサーで振付家だ。


そんなダンス界の風雲児が08年12月に立ち上げた東京ELECTROCK STAIRSは、既存のテクニックだけに捉われないジャンルを横断した新しい表現を目指すカンパニー。振付、出演に加え、さらに音楽も手掛けるKENTARO!!は多才ぶりを発揮し、圧倒的なエネルギーで観客の心を掴む。今回の本公演では、近年の国内外の公演に出演してきたメンバーとの新作と、ソロでの新作も披露するというから楽しみだ。

主催：KENTAROCKERS 提携：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

マームとジブシー「ΛΛΛ かえりの合図、まったた食卓、そこ、きっと———」

6月8日(日)～22日(日) シアターイースト

詳細はP13へ



作・演出：藤田貴大
出演：石井亮介、伊東茄那、
萩原 綾、尾野島慎太郎、
川崎ゆり子、斎藤章子、中島広隆、
成田亜佑美、波佐谷聡、沼田実子、吉田聡子



藤田貴大

岸田戯曲賞受賞作、待望のリニューアル再演

藤田貴大が2007年に設立、脚本と演出を務める彼が「マーム(母体)」となり、ジブシーさながらスタッフとキャストを集めて公演を行うマームとジブシー。セリフのリフレインが生むリズムが特徴的で、映画的、音楽的、小説的などとも評される作品は、著名な演劇人たちからの評価も高い。音楽家の大谷能生、美術家の飴屋法水、漫画家の今日マチ子、小説家の川上未映子とのコラボレーションなど、ジャンルを軽やかに越境するスタイルも話題に。



2013年には初の海外公演も成功させた。今回は、12年に藤田が26歳で岸田國士戯曲賞を受賞した三部作『かえりの合図、まった食卓、そこ、きっと、しおふる世界。』の中の2作品を、大幅にリニューアルして再演。初演のその後も描くという本作は、これまでさまざまなアプローチで“家族の風景”を描き続けた藤田の、ある意味で集大成的な作品になるだろう。演劇ファンのみならず、必見の舞台になることは間違いない。

主催：マームとジブシー 提携：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

芸劇 dance モモンガ・コンプレックス⇄珍しいキノコ舞踊団「Together ざ。」

6月27日(金)～29日(日) シアターイースト

詳細はP14へ



振付・構成・演出：白神ももこ(モモンガ・コンプレックス)、
伊藤千枝(珍しいキノコ舞踊団)
出演：モモンガ・コンプレックス
(北川 結、白井梨恵、夕田智恵、白神ももこ)、
珍しいキノコ舞踊団(茶木真由美、矢嶋里美、
岡里蓉子、佐々木美和、仁科 幸、伊藤千枝)

伊藤千枝×モモコン、白神ももこ×キノコの初タッグ!

珍しいキノコ舞踊団主宰の伊藤千枝がモモンガ・コンプレックス(写真左)に、モモンガ・コンプレックス主宰の白神ももこが珍しいキノコ舞踊団(写真右)に、振付家をクロスして作り上げる2つの新作をセットで見られるという、ひと粒で二度おいしいダンス公演。


結成はキノコが1990年、モモコンが2005年。15年という時間の経過があり、日本のコンテンポラリーダンス界の旗手として走り続ける伊藤は、白神にとって憧れの大先輩だ。しかし、どちら

も(ほぼ)メンバーが女性のカンパニーで、作風が似ているといわれたこともあって、ふたりはお互いの作品を鑑賞し合い、プライベートでも親交を深めてきた。後輩から先輩へのラブコールで、初タッグとなる実験的な公演が実現する。伊藤と白神にとっても、それぞれのダンサーにとっても、もちろん観客にとっても、エキサイティングな体験になるはず。作品、そしてダンサーにどのような化学反応が起こるのか大いに注目したい。

主催：モモンガ・コンプレックス 共催：合同会社キノコキ 提携：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

芸劇 dance 2014(平成26)年8月～12月 実施予定

勅使川原三郎ディレクション U18ダンスワークショップ・プロジェクト 第3期



参加者募集は本年5月頃開始予定。
詳細は東京芸術劇場ホームページ等にて告知いたします。

勅使川原三郎ディレクション U18ダンスワークショップ・プロジェクト第2期の締めくくりとして、半年のワークショップの成果を舞台上で披露するデモンストレーション公演が、本年1月シアターイーストで行われた。第2期の参加者13名の少年少女と共に舞台上上がった勅使川原三郎自身が、ワークショップと同じように言葉をかける。その言葉を受けて、参加者の身体が目に見えて変化してゆく。普段は見る機会のないワークショップの公開というだけでなく、アーティスト本人の言葉を通じてその創作の方法を観客と共有する、有意義で贅沢な時間。参加者はワークショップを通じて、呼吸で身体を緩めること、自分で思考し工夫して変えてゆく力、継続することの大切さ等、いろいろなことを学び、充実した表情で舞台を終えた。3年目となる第3期は本年夏から開始予定。

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
東京都／東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)

東京芸術劇場

2014年度 演劇・ダンス若手提携公演 今後のラインナップ

今後東京芸術劇場で行われる演劇・ダンス提携公演から、若手の才能に注目するシリーズのラインナップを紹介します。詳細は、各劇団及び劇場HPなどで順次アップしていきます。

芸劇eyes	はえぎわ	シアターイースト	2014年8月
芸劇dance	BATIK	シアターイースト	9月
eyes plus	サンプル	シアターウエスト	9月
eyes plus	モダンスイマーズ	シアターイースト	2015年1月
eyes plus	アマヤドリ	シアターイースト	3月

*芸劇eyes：「芸劇が注目する才能たち、」のキャッチフレーズのもと、これからの演劇シーンを担う作家や演出家、劇団を紹介します。

*eyes plus：「いつもと違う、をプラスする」をテーマに、“芸劇eyes”に参加したカンパニーが再び芸劇に登場。劇場提携ならではの試みに取り組みます。

3 芸劇BUZZ APR・MAY・JUN.2014

芸劇BUZZ APR・MAY・JUN.2014 4

クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会

日本最高峰の音楽家が贈る
“前向き”なロマン派

クラシカル・プレイヤーズ東京(CPT)の活動が新たな段階を迎えている。CPTと共演を重ねているピアニスト仲道郁代に加え、新日本フィルなどのリーダーとして活躍する豊嶋泰嗣が、ソロ・コンサートマスターとして新たに参加。有田正広とともにロマン派の扉を叩く。



有田正広

過去の音楽と向き合うとき、そこにはふたつの「型」がある。ひとつは、現在から過去の音楽の方を向く、いわば「振り返り」型。もうひとつは、過去の音楽よりもさらに過去に戻って、そこから時間の流れの通り進んでいく「前向き」型。「振り返り」型は、いま与えられている条件を最大限に活かそうとする。一方「前向き」型は、条件をいったんリセットして、条件そのものを検討する。後者は古楽と呼ばれることもある。古い音楽を懐かしむのが古楽ではない。故きを温ね、前を向き、新しきを知るのが古楽の身上だ。その意味で、19世紀の音楽を中心とした6月のプログラムは、CPTの真骨頂と言える。バッハやモーツァルト、ベートーヴェンを経て、

シューベルト、メンデルスゾーンへ。CPTの演奏史はまるごと、当時の音楽家の積んだキャリアと重なり合っている。こうした流れの結節点として、モーツァルトはとても重要な作曲家だ。18世紀の「語る音楽」の伝統を、明快な響きの中で開花させた。そんな先輩の音楽をベートーヴェンが大仕掛けにし、後輩のシューベルトにつなげる。6月の公演では《ピアノ協奏曲第23番イ長調》によって、18世紀の音楽家モーツァルトが19世紀の扉を叩いている様子をうかがい知ることができる。そのノックに呼応するのはもちろん、シューベルトの《未完成交響曲》だ。ウィーンの音楽

家たちが耕してきた交響曲の土壌の上に咲いた不思議な花《未完成》。モーツァルト、そしてベートーヴェンからシューベルトへのパトナタッチが音として響くのも、温故知新のなせる業だ。

こうした音楽史の流れを、メンデルスゾーンは演奏会で聴衆に示した。ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団の楽長として、バッハの作品を取り上げ、モーツァルトをレパートリーに加え、ベートーヴェンを再評価した。シューベルトの《交響曲八長調「ザ・グレート」》は、メンデルスゾーンによって初演された。始めにおかれた序曲《夏の夜の夢》は、こうしたメンデルスゾーンの視野の広さを教えてくれる。

プログラムのこうした視座は、CPTの「前向き」な演奏でより鮮明になるだろう。今回はピアノのソリストに仲道郁代、ソロ・コンサートマスターに豊嶋泰嗣を迎える。在京オーケストラで活躍する豊嶋は、古楽の泰斗フランス・ブリュッヘンとの共演歴も長い。日本のクラシックシーンの屋台骨を支える音楽家の参入は、CPTの歩みにますますの力強さを加えてくれるだろう。

文：澤谷夏樹

東京芸術劇場Presents
クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会
6月21日(土) 15:00開演 コンサートホール
※有田&仲道によるプレトークあり(14:30～)
指揮:有田正広
フォルテピアノ:仲道郁代
管弦楽:クラシカル・プレイヤーズ東京(オリジナル楽器使用)
ソロ・コンサートマスター:豊嶋泰嗣

メンデルスゾーン／『夏の夜の夢』序曲 ホ長調 op.21
モーツァルト／ピアノ協奏曲第23番 イ長調 K.488
シューベルト／交響曲第7番 ロ短調 D759「未完成」

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)




仲道郁代



豊嶋泰嗣

クラシカル・プレイヤーズ東京 今後の演奏会
2015年2月14日(土) コンサートホール
モーツァルト／ヴァイオリン協奏曲第5番 イ長調 K.219
「トルコ風」(ヴァイオリン:豊嶋泰嗣)
ベートーヴェン／交響曲第5番 ハ短調 op.67「運命」 ほか
発売日:2014年秋予定

詳細はP14へ



ミュージック
エンターテインメントプログラム

芸劇ユース・ウインド・オーケストラ

東京芸術劇場と東京佼成ウインド・オーケストラが
タッグを組み、公共ホール初の
プロフェッショナル育成型吹奏楽団を創設!
メンバーを募集いたします!

募集要項など詳細は、HPにて発表いたします。

www.geigeki.jp

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

海外オーケストラシリーズI フランス国立リヨン管弦楽団

インタビュー ピアノ 小菅 優

初顔合わせのスラットキンと
ラヴェルを共演!

国際舞台で大活躍中のピアニスト、小菅優が今年7月、東京芸術劇場でレナード・スラットキン指揮フランス国立リヨン管弦楽団と共演する。スラットキンへの期待、ラヴェルの協奏曲への思いなど、公演前の胸中を語ってもらった。

小菅優は東京音楽大学附属音楽教室に学んだのち、1993年からヨーロッパに暮らし、クラシック音楽の本場の空気の中で技術と感性を磨いてきた。国際コンクールの上位入賞を足掛かりとして世に出る若手が多い昨今、9歳でリサイタル・デビュー。その後も演奏会一本で高い評価を築いた稀有なタイプの実力派ピアニストだ。協奏曲ソリストとしては、ベルリン交響楽団、フランクフルト放送交響楽団、シュトゥットガルト放送交響楽団、ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団、フィンランド放送交響楽団、カメラータ・ザルツブルク、ウィーン室内管弦楽団、フランス国立管弦楽団、日本の主要オーケストラ等と共演、多くの著名指揮者のタクトを経験してきた。そんな彼女もスラットキンとは今回が初めてとなる。

「初めて共演するマエストロのときは、どんな方かな、といつもドキドキします。スラットキンさんはとても温かそうな方ですね。きつとよい音楽と一緒に作り出していくことができ

るのではないかとと思っています。」
今年古稀を迎えるスラットキンはアメリカ生まれ。1980年代にセントルイス交響楽団の音楽監督として、同団の演奏水準を一挙に引き上げた功で知られる。2011～12年のシーズンからフランス国立リヨン管弦楽団の音楽監督に就任、このフランスの地地方色豊かなオーケストラにアメリカのフレッシュな息吹と彼自身の練り上げた美質を注ぎ込んでいる。今回の日本公演はオール・フランス・プログラム。ラヴェルの組曲『マ・メール・ロワ』、ラヴェルのピアノ協奏曲ト長調を前半に、サン＝サーンスの交響曲第3番「オルガン付き」を後半にとりあげる。ラヴェルの協奏曲は小菅優の十八番のひとつだが、今回の共演にあたってどのようなアプローチを考えているのだろうか。
「ラヴェルは本当に興味の尽きない作曲家。実に多面的な顔を持っているからです。作品には、ジャズや古典派の語法など、いろいろな要素が入っています。子どもの頃、最



© Nico Rodamel
レナード・スラットキン

© Marco Borggreve
小菅 優



© David Duchon-Doris

初に弾いたラヴェルのピアノ曲は『ソナチネ』でした。それから次に『クープランの墓』。ト長調協奏曲は何度も弾いていますが、やはり共演する指揮者とオーケストラによって私の表現も異なってきます。ト長調協奏曲にはアメリカのジャズの要素が採り入れられていますけれども、それを前面に出すのか、それともフランスの洗練、あるいは粋の味わいを重視して表現するか。アメリカ人のマエストロとフランスのオーケストラの組み合わせ。そこに私が加わってどうなるか、私自身、非常に楽しみに思っています。」

演奏会の後半は、東京芸術劇場備え付けのオルガンの名器ガルニエを用いたサン＝サーンスの交響曲第3番だ。

「出番が終わっているので聴かせていただく予定です。いつも後半のオーケストラ・プログラムは客席で聴くんですよ。コンサートを聴くのもオペラやバレエを観るのも大好きで、時間があれば出かけます。先日、チャイコフスキーのピアノ協奏曲を8年ぶりに弾いたのですが、彼のバレエを観たことで、協奏曲への観方も前と変わってきました。あ、ここにもバレエの音楽が入っている、と感じる部分をたくさん発見しました。」

今回、彼女が使用する東京芸術劇場のハンブルク・スタインウェイは最近オーバーホールしたばかり。自宅でもハンブルク・スタインウェイを愛奏する小菅優。7月の演奏会ではどんな音色を引き出してくれるのか、今から期待に胸が高鳴る。

取材・構成：萩谷由喜子

海外オーケストラシリーズI
フランス国立リヨン管弦楽団
7月19日(土) 15:00開演 コンサートホール

指揮:レナード・スラットキン
ピアノ:小菅 優
管弦楽:フランス国立リヨン管弦楽団

ラヴェル／組曲『マ・メール・ロワ』
ピアノ協奏曲ト長調
サン＝サーンス／交響曲第3番op.78「オルガン付き」
(オルガン:石丸山佳)

S席12,000円 A席8,000円 B席6,000円
C席5,000円 D席3,000円 *SS席14,000円
お申込先:東京芸術劇場ボックスオフィス
TEL 0570-010-296
[休館日を除く10:00-19:00]

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

★海外オーケストラシリーズII
モントリオール交響楽団
2014年10月10日(金) 19:00開演
コンサートホール

指揮:ケント・ナガノ ヴァイオリン:五嶋 龍
管弦楽:モントリオール交響楽団

ドビュッシー／交響詩『海』
ストラヴィンスキー／ヴァイオリン協奏曲 二長調
ムソルグスキー(ラヴェル編曲)／組曲『展覧会の絵』
発売日:4月22日(火)
S席18,000円 A席13,000円 B席9,000円
C席5,000円 D席3,000円 *SS席22,000円

★海外オーケストラシリーズIII
フィルハーモニア管弦楽団
2015年3月7日(土) 14:00開演
コンサートホール

指揮:エサ・ベッカ・サロネン ヴァイオリン:ヒラリー・ハーン
管弦楽:フィルハーモニア管弦楽団

ブラームス／ヴァイオリン協奏曲
ベートーヴェン／交響曲第3番 変ホ長調『英雄』
発売日:2014年秋予定

芸劇提携事業	アルド・チッコリーニ	ピアノ・リサイタル
6月18日(水) 19:00開演	コンサートホール	詳細はP13へ



ブラームス／4つのバラードOp.10
グリーグ／ピアノ・ソナタOp.7
ボロディン／小組曲
カステルヌオーヴォ＝テデスコ／
ビェディグロッタ1924 ナポリ狂詩曲

主催：テレビ朝日／藍インターナショナル
提携：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

芸劇提携事業	ザ・フィルハーモニクス
6月20日(金) 19:00開演	コンサートホール



ピアソラ／リベルタンゴ
プロコフィエフ／ロミオとジュリエット
クライスラー／美しきロスマリン
ブラームス／ハンガリー舞曲第5番
リムスキー＝コルサコフ／くまばちの飛行
C.コリア／スペイン ほか

主催：ジャパン・アーツ
提携：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）
協力：ユニバーサル ミュージック
後援：オーストリア大使館／オーストリア政府観光局／ウィーン在日代表部

必聴!賢人の言葉に匹敵する名匠の演奏

1925年にイタリアのナポリで生まれ、現在もなお88歳でみずみずしい音楽を聴かせてくれるピアニスト、アルド・チッコリーニ。たび重なる来日公演でも深みのある音楽を披露し、古くからのファンはもちろん若い世代の聴衆にも感銘を与えてきた名匠だ。最近では、約40年間にわたる録音の数々がCDボックスとして発売され、さらに新しいファンを増やしている。長い時間を経た熟成の度合いは、ワインなどを引き合いに出すまでもなく音楽家も同様。それだけに今年の来日公演にも、大きな期待が寄せられているのだ。

今回は、幅広いレパートリーから選ばれた特別なプログラム。これまでチッコリーニを聴き続けてきたファンにとっても、このバラエティに富んだ選曲は新鮮だろう。最初に演奏されるブラームスの「4つのバラード」は、その豊か

な詩情によって感動への扉を開く。若きグリーグによるソナタは、彼自身の生真面目さや決意が感じられる意欲作だ。後半はロシアの作曲家ボロディンによる絵葉書のような小品集「小組曲」と、チッコリーニが多くのピアノ曲を録音しているカステルヌオーヴォ＝テデスコの作品を演奏。20世紀イタリアの抒情派と言える作曲家であり、チッコリーニの生まれ故郷をモチーフにした「ビェディグロッタ 1924 ナポリ狂詩曲」(しかも作曲年はチッコリーニの誕生と同時期)は、郷愁と感慨をもってホールに鳴り響くだろう。

音のひとつひとつに純度の高い言葉が乗っているような演奏は、コンサートホールの空気を静謐にさせ、まるで老師の講話を聴くような佇まいさえ生み出してしまう。今回も、記憶に残るチッコリーニ体験が約束されるだろう。

ウィーンも熱狂中の“華麗なる7人”が登場

これまでも数多くのアンサンブルが楽団内で生まれ、私たちを楽しませてきたウィーン・フィルハーモニー管弦楽団。楽員が中心となって2007年に結成されたザ・フィルハーモニクスは、その名前に自信と誇りが現れている注目のグループだ。ウィーンでもっとも注目され、「華麗なる7人」という異名が光輝いている七重奏である。

メンバーはリーダーであるティボール・コヴァーチ(ウィーン・フィルの首席第2ヴァイオリン奏者)をはじめ、ウィーン・フィルとベルリン・フィルに在籍する弦楽器奏者が4人。そして、ロマ(ジプシー)音楽の英雄となったラカトシュのアンサンブルで演奏しているフランティšek&ローマン・ヤーノシュカ兄弟、クラリネット・ファミリーの一翼を担うダニエル・OTTテンザマー。それぞれがハイ・クオリティの演奏技術でアンサンブルを支え、7人ならではの

エンタテインメントを作り出す。

レパートリーは、ウィーンっ子のシューベルトやヨハン・シュトラウス2世、そしてクライスラーの音楽ほかクラシックの名曲たち。ロマ音楽の影響を受けたブラームスの「ハンガリー舞曲第5番」なども、彼らならではの演奏が期待できるだろう。さらにはクラシック音楽シーンにもファンが多いチック・コリアの名作「スペイン」や、アストル・ピアソラの「リベルタンゴ」、そしてメンバーによるオリジナル曲「K&Kラブソディー」などが加わる。

柔軟かつ縦横無尽、それでいて芳醇な音楽の魅力あふれる演奏だけに、そのステージが生き生きとしていて楽しいのは当然。来日公演の盛り上がりを予感させる“世界最速の「くまんばちの飛行」”も、大きな話題になることは間違いない。

2014年度 東京芸術劇場 音楽年間ラインナップ

Concert Hall

コンサート・カレンダー 2014.04 ▶ 2015.03



Orchestra

東京芸術劇場Presents
クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会
指揮：有田正広 管弦楽：クラシカル・プレイヤーズ東京

2014年6月21日(土) 15:00開演
メンデルスゾーン／『夏の夜の夢』序曲 木長調Op.21
モーツァルト／ピアノ協奏曲第23番 イ長調 K.488
(フォルテピアノ：仲道郁代)
シューベルト／交響曲第7番 短調 D759「未完成」

2015年2月14日(土)
モーツァルト／ヴァイオリン協奏曲第5番 イ長調 K.219
「トルコ風」(ヴァイオリン：豊嶋泰嗣)
ベートーヴェン／交響曲第5番 短調 Op.67「運命」 ほか
【全席指定】 S席4,000円 A席3,000円 B席2,000円

2014-2015 海外オーケストラシリーズ

2014年7月19日(土) 15:00開演
フランス国立リヨン管弦楽団
指揮：レナード・スラットキン
ピアノ：小菅 優
管弦楽：フランス国立リヨン管弦楽団
ラヴェル／組曲『マ・メール・ロフ』、ピアノ協奏曲 長調
サン＝サーンス／交響曲第3番 Op.78「オルガン付き」
(オルガン：石丸由佳)
【全席指定】 S席12,000円 A席8,000円 B席6,000円
C席5,000円 D席3,000円 ＊SS席14,000円

2014年10月10日(金) 19:00開演
モントリオール交響楽団
指揮：ケント・ナガノ
ヴァイオリン：五嶋 龍 管弦楽：モントリオール交響楽団
ドビュッシー／交響詩『海』
ストラヴィンスキー／ヴァイオリン協奏曲 二長調
ムソルグスキー(ラヴェル編曲)／組曲『展覧会の絵』
【全席指定】 S席18,000円 A席13,000円 B席9,000円
C席5,000円 D席3,000円 ＊SS席22,000円

2015年3月7日(土) 14:00開演
フィルハーモニア管弦楽団
指揮：エサ＝ベッカ・サロネン
ヴァイオリン：ヒラリー・ハーン
管弦楽：フィルハーモニア管弦楽団
ブラームス／ヴァイオリン協奏曲
ベートーヴェン／交響曲第3番 変ホ長調『英雄』

世界のマエストロシリーズvol.2

2014年10月30日(木)
ラドミル・エリシュカ & 読売日本交響楽団
指揮：ラドミル・エリシュカ
管弦楽：読売日本交響楽団
ドヴォルザーク／交響曲第9番「新世界より」 他

東京芸術劇場& ミューザ川崎シンフォニーホール共同企画
第5回音楽大学
オーケストラ・フェスティバル2014

2014年11月16日(日) 15:00開演
昭和音楽大学&東京芸術大学
ミューザ川崎シンフォニーホール

2014年11月24日(月・祝) 15:00開演
上野学園大学&洗足学園音楽大学
&武蔵野音楽大学
ミューザ川崎シンフォニーホール

2014年12月6日(土) 15:00開演
国立音楽大学&桐朋学園大学
東京芸術劇場コンサートホール

2014年12月7日(日) 15:00開演
東京音楽大学&東邦音楽大学
東京芸術劇場コンサートホール
【全席指定】 1回券1,000円 通し券3,000円

第4回音楽大学 フェスティバル・オーケストラ

指揮：ユベール・スダーン
管弦楽：音楽大学フェスティバル・オーケストラ
(首都圏9音楽大学選抜オーケストラ)

2015年3月28日(土)
ミューザ川崎シンフォニーホール

2015年3月29日(日)
東京芸術劇場コンサートホール
【全席指定】 S席2,000円 A席1,500円

Opera

東京芸術劇場コンサートオペラvol.2
ヴェルディ／歌劇「ドン・カルロス」
フランス語、バリ初演版全幕(日本初演)

2014年9月6日(土)
指揮：佐藤正浩
ドン・カルロス：佐野成宏 エリザベート：浜田理恵
フィリップ2世：カルロ・コロンバール
ロドリッグ：堀内康雄
エボリ公女：小山由美 宗教裁判長：妻屋秀和
修道士：ジョン・ハオ テバルド：鷲尾麻衣
天の声：佐藤美枝子 レルマ伯爵：ジョージ・ゴーティエ
管弦楽：ザ・オペラ・バンド(在京プロオケメンバーで結成)
コーラス：武蔵野音楽大学

東京芸術劇場シアターオペラvol.8
レハール／喜歌劇『メリー・ウィドウ』

2015年2月22日(日)

Brass

★東京芸術劇場Presents
ブラスウィーク2014

2014年9月21日(日)
シエナ・ウインド・オーケストラ

2014年9月28日(日)
東京佼成ウインド・オーケストラ

2014年10月18日(土)
東京吹奏楽団

2014年10月12日(日)
バンドクリニック
『中・高生のための楽しい吹奏楽』

Organ

パイプオルガンコンサートVol.18

2014年12月16日(火) 19:00開演
ホルン：ラデク・バボラーク
オルガン：アレシュ・バルタ

ランチタイム・パイプオルガンコンサート

各回 12:15開演 ※12:45終演予定
2014年5月22日(木) オルガン：オクタヴィアン・ソニエ
2014年7月17日(木) オルガン：堀切麻里子
2014年9月18日(木) オルガン：平井靖子
2014年11月20日(木) オルガン：川越聡子
2015年1月15日(木) オルガン：中田恵子
2015年3月12日(木) オルガン：新山恵理
【全席自由】 500円

ナイトタイム・パイプオルガンコンサート

各回 19:30開演 ※20:30終演予定
2014年4月17日(木) オルガン：岩崎真実子
声明：真言宗智山派 観照会

2014年6月12日(木) オルガン：早島万紀子
2014年8月28日(木) オルガン：小林英之
フルート：三上明子

2014年10月16日(木) 未定
2015年2月12日(木) 未定
【全席指定】 1,000円

Family

芸劇&読響
0才から聴こう!! 春休みふれあいコンサート
2015年3月30日(月)

Chamber music at Entrance

クラシカル・プレイヤーズ東京 室内楽 演奏会

2014年11月20日(木) 19:00開演
〈フルート・トリオ〉
2015年1月8日(木) 19:00開演
〈弦楽四重奏〉
【全席自由】 2,000円(座席数150席予定)
コンサートホール・エントランス(5階)

Consociate

アルド・チッコリーニ ピアノ・リサイタル

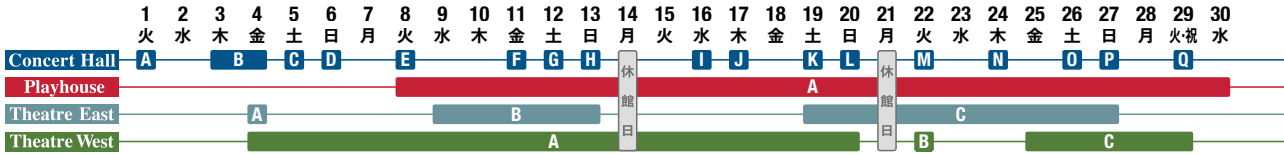
2014年6月18日(水) 19:00開演
【全席指定】 S席8,500円 A席7,000円 B席5,500円
主催：テレビ朝日／藍インターナショナル

ザ・フィルハーモニクス

2014年6月20日(金) 19:00開演
【全席指定】 6,500円
主催：ジャパン・アーツ

前橋汀子 デイライト・コンサート

2014年10月14日(火) 11:30開演
【全席指定】 2,000円
主催：KAJIMOTO



Concert Hall 音楽略号:指揮(Cond)/ソプラノ(Sop)/メゾ・ソプラ(M.Sop)/アルト(Alt)/テノール(Ten)/バリトン(Bar)/バス(Bass)/コーラス(Chor)/フルート(Fl)/オーボエ(Ob)/クラリネット(Cl)/

A

1日(火) Closed・関係者のみ

平成26年度 東京都職員入都式

B

3日(木)~4日(金) Closed・関係者のみ

立教大学 入学式

C

5日(土) 15:00開演

BOX

東京佼成ウインドオーケストラ Presents
吹奏楽大作戦2014

出演 大井剛史(Cond)/岩崎里衣(司会)/東京佼成ウインドオーケストラ

曲目 ★指揮者コーナー
岩井直洵/復興への序曲「夢の明日に」
河辺公一/高度な技術への指標
★体感コースコーナー
岩井直洵編/ティズニー・メドレー
★演奏コース合同演奏
和泉広隆(真島俊夫編)/宝島
マッコイ(岩井直洵編)/アフリカン・シンフォニー
ハムリッシュ(浦田健次郎編)/追憶のテーマ
ラヴェル(岩井直洵編)/ボレロ・イン・ポップス ほか

料金 大人:3,000円/子ども:1,500円/
体感コース付きチケット:4,000円

TEL 東京佼成ウインドオーケストラ事務局 03-5341-1155

D

6日(日) 14:00開演

BOX

新交響楽団 第225回演奏会

出演 曽我大介(Cond)/大谷康子(Vn)/新交響楽団

曲目 ハチャトウリアン/バレエ音楽「ガイーヌ」より
サン＝サーンス/ヴァイオリン協奏曲第3番
リムスキー＝コルサコフ/交響組曲「シェヘラザード」

料金 S:3,000円/A:2,500円/B:1,500円

TEL コンサートイマジン 03-3235-3777

E

8日(火) Closed・関係者のみ

後藤学園 合同入学式

F

11日(金) 19:00開演

AOYAMA presents
Ryuichi Sakamoto I Playing the Orchestra 2014

出演 坂本龍一/東京フィルハーモニー交響楽団

料金 S:10,000円/A:8,500円/学生シート:3,000円

TEL ディスカグラレージ 050-5533-0888

G

12日(土) 14:00開演

BOX

合唱団 鯨 第66回定期演奏会

出演 黒岩英臣(Cond)/針生美智子、浪川佳代(Sop)/大川信之(Ten)/星野 淳(Bar)/クライネス・コンツェルトハウス管弦楽団/合唱団 鯨

曲目 フォーレ/レクイエムOp.48
モーツァルト/ミサ曲ハ短調K.427(417a)

料金 S:4,500円/A:3,500円/B:2,500円/学生:1,000円/
車椅子:1,000円

TEL 合唱団 鯨(高橋) 03-3998-9050

Playhouse

A

8日(火)~30日(水)

BOX

酒と涙とジキルとハイド

作・演出 三谷幸喜

出演 片岡愛之助/優香/藤井 隆 ほか

料金 【全席指定】S:9,500円/A:7,500円/
U-25チケット5,500円(25歳以下対象・前売のみ取扱い・当日指定席券引換・要証明書)

4月8、9日プレビュー公演 S:8,500円/A:6,500円/高校生割引:1,000円

TEL ホリプロチケットセンター 03-3490-4949

4月	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
13:00					●	●						★	●						●	●		●	
14:00							休		●	●				休		●	●			休		●	
18:00												●									休	●	
19:00	◆	◆	●					●	●		●				●	●		●					

◆=プレビュー公演 ★=貸切公演
※高校生割引チケットは、東京芸術劇場ボックスオフィスにて前売のみ取扱い(枚数限定・要証明書)

Theatre East

A

4日(金) 19:00開演

ヴァギナ・モノローグス

出演 木内みどり/中川安奈/北原みのり ほか

料金 【全席指定】4,000円

TEL アムアーツ 03-5261-0177

B

9日(水)~13日(日)

花や...蝶や...

脚本 佐藤雄貴 脚色・演出 真由子 協力 津川雅彦

出演 浅丘雪路/真由子/門戸竜二/時代吉二郎/大谷 朗/
五大桃華/小林 功/梅宮万紗子 ほか

料金 【全席指定】前売:5,500円/当日:6,000円

TEL オフィスレファ 050-3305-0359

4月	9	10	11	12	13
	水	木	金	土	日
12:30					●
13:00		●	●	●	
16:30					●
18:30	●	●	●	●	

Theatre West

A

4日(金)~20日(日)

BOX

今度は愛妻家

作 中谷まゆみ 演出 板垣恭一

出演 瀬奈じゅん/葛山信吾/村國夫/
入野自由、石井一彰(Wキャスト)/名塚佳織、今村美乃(Wキャスト)

料金 【全席指定】7,600円

TEL 東宝芸能 03-3504-2011

4月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
13:00		◆	★							♥	◆					♣	♣
14:00				休		♣	♣				休	♥	♣	♣			
17:00		♠			休				◆		休					♥	
19:00	♣				◆	♥		♠					♥		♠		

★=貸切 ♥=入野&名塚 ◆=入野&今村 ♠=石井&名塚 ♣=石井&今村

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

お問合せ 東京芸術劇場
ボックスオフィス 0570-010-296

「休館日を除く 10:00~19:00」

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演

3月31日(月)20:00~4月1日(火)5:00まで、消費税率改定に伴うメンテナンス作業のため、東京芸術劇場ボックスオフィスでのチケット予約に関わる全サービスを一時休止させていただきます。

ファゴット(Fg)/サクソス(Sax)/ホルン(Hr)/トランペット(Tp)/トロンボーン(Tb)/ヴァイオリン(Vn)/ヴィオラ(Va)/チェロ(Vc)/コントラバス(Cb)/ハープ(Hp)/ピアノ(Pf)/チェンバロ(Cemb)/オルガン(Org)

J

17日(木) 19:30開演

BOX

東京芸術劇場ナイトタイム・
パイプオルガンコンサート Vol.4

出演 岩崎真実子(Org)/
真言宗智山派 観照会(倉松隆観 主宰)(声明)

曲目 J.S.バッハ/幻想曲(ピエス・ドルグ)ト長調BWV572
コラール「いと高きところにまします神にのみ
栄光あれ」BWV663, 662
白鳥 仁/津軽木挽唄、曼荼羅・光明三昧
柴田南雄(白鳥 仁)/理趣教とDies irae『人間と死』より
清上日出夫/雲中供養菩薩 楽

料金 【全席指定】1,000円

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

K

19日(土) 14:00開演

BOX

読売日本交響楽団
第7回読響メトロポリタン・シリーズ

出演 シルヴァン・カンブルラン(Cond)/ニコライ・デミジェンコ(Pf)/
ローラ・エイケン(Sop)/読売日本交響楽団

曲目 シェーンベルク/弦楽のためのワルツ
リスト/ピアノ協奏曲第1番
マーラー/交響曲第4番「大いなる喜びへの賛歌」

料金 S:7,000円/A:5,000円/B:4,000円/C:3,000円

TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

L

20日(日) 16:00開演

BRASS UP! Z~!!
ブラスサウンドで知る
田中公平と伊藤賢治の正体
~おまけライブ付きだよ~

出演 渡邊一正(1部・2部)/
東京佼成ウインドオーケストラ(1部・2部)/
田中公平、伊藤賢治、川村竜バンド(3部)/
ゲスト出演者:中川翔子、きただにひろし、富永TOMMY弘明

曲目 未定

料金 S:8,500円/A:7,000円/B:6,000円/C:5,000円/
D:3,000円

TEL (株)イマジン 03-5574-7661

M

22日(火) 14:00開演

無料

コンサートホール・エントランス(5階)

東京芸術劇場ティータ임・
コンサート Vol.5

出演 川越聡子(ポジティブ・オルガン)

料金 【全席自由】入場無料
(当日13時より5階コンサートホール前にて整理券配布・約150枚)

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

N

24日(木) Closed・関係者のみ

麹町学園女子中・高等学校 音楽鑑賞会

「休館日」14日(月)・21日(月)
休館日の施設のご利用案内及びお電話でのお問合せ受付は行っておりません。
また、館内店舗(一部店舗を除く)は閉店しておりますのでご了承下さい。
※原則未就学児のご入場はお断りしています。
※プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。
※最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。

O

26日(土) 14:00開演

BOX

読売日本交響楽団
第165回東京芸術劇場マチネ・シリーズ

出演 小林研一郎(Cond)/アレクサンドラ・スム(Vn)/
読売日本交響楽団

曲目 チャイコフスキー/ヴァイオリン協奏曲、
交響曲第6番「悲愴」

料金 S:7,000円/A:5,000円/B:4,000円/C:3,000円/
ジュニア:1,500円

TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

P

27日(日) 14:00開演

BOX

東京佼成ウインドオーケストラ
第119回定期演奏会

出演 大井剛史(Cond)/東京佼成ウインドオーケストラ

曲目 中橋愛生/科戸の鶴巢~吹奏楽のための祝典序曲
ヒンデミット/吹奏楽のための交響曲
長生淳/Paganini Lost in Wind
リード/アルメニアン・ダンス Part I Part II

料金 S:5,000円/A:4,000円/B:3,000円/C:1,000円/
[当日500円増]

TEL 東京佼成ウインドオーケストラ事務局 03-5341-1155

Q

29日(火・祝) 14:00開演

青山シンフォニーオーケストラ
第27回定期演奏会

出演 汐澤安彦(Cond)/青山シンフォニーオーケストラ

曲目 ベートーヴェン/交響曲第6番「田園」
バルトーク/管弦楽のための協奏曲

料金 S:2,000円/A:1,500円/B:1,000円

TEL 石田 045-713-3478

C

19日(土)~27日(日)

BOX

eyes plus 範田遊泳 「うまれてないからまだしねない」

作・演出 山本卓卓

演出 大橋一輝/熊川ふみ/基本幸良/伊東沙保/大石将弘(ままと)/椎橋綾那/田中美希恵/
名児耶ゆり/波佐谷 聡/福原 冠

料金 【全席自由】一般:予約3,000円・当日3,500円/学生:予約2,500円・当日3,000円/
高校生:1,000円/中学生以下:500円

TEL 範田遊泳 090-6182-1813

4月	19	20	21	22	23	24	25	26	27
	土	日	月	火	水	木	金	土	日
14:00		★						●	●
19:00	★	★	演	★	★	●	●	●	

★=終演後アフタートークあり

B

22日(火) 10:30開演

次代の文化を創造する新進芸術家育成事業
舞台音響家のための公開講座《基礎コース》

料金 【受講料】一般:4,000円/協会員:3,000円/学生:2,000円

TEL (一社)日本舞台音響家協会 03-3205-6943

C

25日(金)~29日(火・祝)

妖精の探し方

演出 武末志朗

料金 前売指定:3,000円/当日指定:3,500円/
ジェネチケ(家族割):2,500円

TEL 劇団Peek-a-Boo 080-6595-8774

4月	25	26	27	28	29
	金	土	日	月	火・祝
11:00					●
14:00			●	●	
15:00					●
19:00	●	●	●	●	



Concert Hall 音楽略号:指揮(Cond)/ソプラノ(Sop)/メゾ・ソプラ(M.Sop)/アルト(Alt)/テノール(Ten)/バリトン(Bar)/バス(Bass)/コーラス(Chor)/フルート(Fl)/オーボエ(Ob)/クラリネット(Cl)/

A 1日(木) Closed・関係者のみ
豊島区立小・中学校音楽鑑賞教室

B 2日(金) Closed・関係者のみ
城西大学附属城西中学・高等学校
第44回生徒と父母のための音楽鑑賞会

C 3日(土・祝) 16:30開演
第63回東京六大学合唱連盟 定期演奏会

出演 仲光甫(Steve/jammin'Zeb)ほか(Cond)/
立教大学グリークラブ/法政大学アリオンコール/
慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団/
東京大学音楽部合唱団コールアカデミー/
明治大学グリークラブ/早稲田大学グリークラブ
曲目 David Wright編/Go Down Moses
Lensei編(jammin'Zeb)/I'm Going To The Mountain ほか
料金 S:2,500円/A:2,000円/B:1,000円
TEL チケット担当(立教) 080-2038-6613

D 4日(日・祝) 14:00開演
ズーラシアンフィルハーモニー管弦楽団

出演 オカビ(Cond)/ズーラシアンフィルハーモニー管弦楽団
曲目 森のくまさん、チャイコにであった。 グリーンスリーブス
ロンドンデリーの歌 ほか
料金 S:4,500円/A:3,500円/B:2,500円
TEL 東京音協 03-5774-3030

Playhouse

A 3日(土・祝)~6日(火・休)
TACT/FESTIVAL 「リメディア〜いま、ここで」

出演 カミュー・ボワテル/マリヌ・ブロワーズ/アルド・トマ/パスカル・ル・コー/トマド・ブロワシア/ジャック・ブノワ・ダルダン
料金 【全席指定】大人:3,000円/子ども(高校生以下):1,000円/
「リメディア〜いま、ここで」+「ハンスはハイリ〜どっちもどっち?」セット券 大人:4,800円/子ども(高校生以下):1,800円(前売のみ取扱い) ほか
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

B 9日(金)~11日(日)
TACT/FESTIVAL 「ハンスはハイリ〜どっちもどっち?」

観劇・演出・舞台デザイン ズィメルマン エド・ベロ
出演 タレク・ハラビー/ティミトリ・ジルド/ティミトリド・ベロ/ゲール・サンティス・ディヴァ/メリッサ・フォン・ヴェービ/メテ・ニニー・ウォントラクーン/マルタン・ズィメルマン
料金 【全席指定】大人:3,000円/子ども(高校生以下):1,000円/
「リメディア〜いま、ここで」+「ハンスはハイリ〜どっちもどっち?」セット券 大人:4,800円/子ども(高校生以下):1,800円(前売のみ取扱い) ほか
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

Theatre East

A 9日(金)~11日(日)
TACT/FESTIVAL
「夢見るための50の方法」「ひつじ」

演出 ダヴィット・ダンゾン **出演** 劇団コープス
料金 【全席自由】500円(「ひつじ」はロワー広場に無料)
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

Theatre West

A 2日(金)~4日(日・祝)
Dance Entertainment
Reach☆2014春公演~Soil&Flower~

料金 【全席指定】前売S:5,000円/A:4,000円/ギャラリー:3,000円
当日S:5,500円/A:4,500円/ギャラリー:3,500円
TEL Reach事務局 080-5880-0133

E 6日(火・休) 15:00開演
交響楽団奏者達によるスペシャル吹奏楽
なにわ「オーケストラ」ウィンズ演奏会2014

出演 丸谷明夫、中川重則(Cond)/なにわ(オーケストラ)ウィンズ
曲目 実験的2014年度吹奏楽コンクール課題曲全曲
スパーク/宇宙の音楽 ほか
料金 A:5,000円/B:4,000円/C:3,000円
問合せ なにわ(オーケストラ)ウィンズ naniwaow@yahoo.co.jp

F 8日(木) 19:00開演
都民劇場音楽サークル第617回定期公演
ボストン交響楽団

出演 ロリン・マゼール(Cond)/ジャーニース・ヤンセン(Vn)/
ボストン交響楽団
曲目 ムソルグスキー/交響詩「はげ山の一夜」
チャイコフスキー/ヴァイオリン協奏曲、交響曲第5番
料金 S:35,000円/A:29,000円/B:24,000円/C:19,000円
TEL 都民劇場 03-3572-4311

G 10日(土) 14:00開演
読売日本交響楽団
第166回東京芸術劇場マチネーシリーズ

出演 ワシリー・シナイスキー(Cond)/デニス・コジュヒン(Pf)/
読売日本交響楽団
曲目 グリンカ/歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲
ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第2番
ストラヴィンスキー/「ブルチネルラ」組曲
「火の鳥」組曲(1919年版)
料金 S:7,000円/A:5,000円/B:4,000円/C:3,000円/ジュニア:1,500円
TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

H 11日(日) 15:30開演
東京六大学混声合唱連盟
第56回定期演奏会

出演 山脇卓也 ほか(Cond)/
青山学院大学グリーンハーモニー合唱団/
早稲田大学混声合唱団/慶應義塾大学混声合唱団奏友会/
法政大学アカデミー合唱団/東京大学柏奏会合唱団/
明治大学混声合唱団
曲目 信長貴富/混声合唱とピアノのための「くちびるに歌を」 ほか
料金 【全席指定】1,000円
TEL 東京六大学混声合唱連盟事務局(田畑) 090-9856-5866

I 17日(土) 14:30開演

東京ニューシティ管弦楽団
第93回定期演奏会 Diesirae〜魔女たちの祭典〜

出演 曾我大介(Cond)/東京ニューシティ管弦楽団
曲目 サン＝サーンス/交響詩「死の舞踏」
ラフマニノフ/シンフォニックダンス
ベルリオーズ/幻想交響曲
料金 S:6,000円/A:4,500円/B:3,000円/C:2,000円
学生半額(25歳以下、S席を除く)
小中高生:1,000円(保護者同伴、S席を除く)
シニア割:10%割引(60歳以上)
TEL 東京ニューシティ管弦楽団事務局 03-5933-3222

G 17日(土) 14:00開演
女性だけのビッグバンドジャズ!
Lady Angel 107ライブ

料金 【全席指定】一般:3,500円/友の会:3,000円/
中学生以下:3,000円
TEL としまみらいチケットセンター 03-3590-5321

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

お問合せ 東京芸術劇場
ボックスオフィス 0570-010-296
BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演

3月31日(月)20:00~4月1日(火)5:00まで、消費税率改定に伴うメンテナンス作業のため、東京芸術劇場ボックスオフィスでのチケット予約に関わる全サービスを一時休止させていただきます。

ファゴット(Fg)/サクソス(Sax)/ホルン(Hr)/トランペット(Tp)/トロンボーン(Tb)/ヴァイオリン(Vn)/ヴィオラ(Va)/チェロ(Vc)/コントラバス(Cb)/ハープ(Hp)/ピアノ(Pf)/チェンバロ(Cemb)/オルガン(Org)

J 18日(日) 14:30開演
椎名雄一郎 J.S.バッハ オルガン全曲演奏会
第11回「ライブツィヒ・コラル集」

出演 椎名雄一郎(Org)/石川洋人、淡野太郎(Chor)
曲目 J.S.バッハ/ライブツィヒ・コラル集
料金 【全席指定】3,500円
TEL アレグロミュージック 03-5216-7131

K 22日(木) 12:15開演
東京芸術劇場ランチタイム・
パイプオルガンコンサート Vol.105

出演 オクタヴィアン・ソニエ(Org)
曲目 ブクステフーデ/トッカータ二短調BuxWV155
J.S.バッハ/前奏曲変ホ長調BWV552/I
ギュー/「シンフォニエッタOp.4」より
メシアン/『キリストの昇天』より ほか
料金 【全席自由】500円
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

L 23日(金) 19:00開演
NTT東日本東京吹奏楽団
第47回定期演奏会

出演 山田昌弘(Cond)/NTT東日本東京吹奏楽団
曲目 2014年度全日本吹奏楽コンクール課題曲
イペール/交響組曲「寄港地」より
井淵昌樹/東の間の恋の歌
清水大輔/ロストムーン ほか
料金 無料(要事前申込)
TEL NTT東京福祉文化事業団「ゆいの会」03-6712-8803

D 18日(日) 15:00開演
第27回 としま能の会

出演 舞囃子「船弁慶」 宝生流 亀井保雄
狂言「見物左衛門」 和泉流 野村 萬
能「安宅」 観世流 観世喜正
料金 【全席指定】S:3,500円/A:3,000円/友の会S:3,200円/友の会A:2,700円
TEL としまみらいチケットセンター 03-3590-5321

E 20日(火)~23日(金)
日西交流400周年記念特別企画公演(第34回モダンダンス5月の祭典)
バラと桜の祝祭

料金 【全席指定】5,000円
TEL 現代舞踊協会 03-5457-7731

M 24日(土) 14:00開演
日本フィルハーモニー交響楽団
サンデーコンサートスペシャル

出演 小林研一郎(Cond)/及川浩治(Pf)/
日本フィルハーモニー交響楽団
曲目 ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第2番
チャイコフスキー/交響曲第5番
料金 S:7,200円/A:6,000円/B:5,200円/C:4,200円/
Ys:1,500円/Gs:4,200円
TEL 日本フィル・サービスセンター 03-5378-5911

N 25日(日) 14:00開演
TOKYO IGIN 金管楽器 Festival Concert
「そのドラマを感じる」

出演 円光寺雅彦(Cond)/熊代祐子(Tp)/滝田姫子(Tb)/
読売日本交響楽団
曲目 フンメル/トランペット協奏曲
ライヒェ/トロンボーン協奏曲第2番
ワーグナー/歌劇「ローエングリン」第1幕への前奏曲
第3幕への前奏曲
歌劇「タンホイザー」序曲
楽劇「ニュルンベルクのマイスター・ジンガー」
第1幕への前奏曲
料金 S:6,000円/A:4,000円
TEL イギン広報室 03-5495-1911

F 24日(土) 14:00開演
三浦一馬が魅せる再びのタンゴ スペシャル

出演 三浦一馬(Bandneon)/石田泰尚(Vn)/山田武彦(Pf)/高橋洋太(Cb)/CHIZUKO(ダンサー) ほか
料金 【全席指定】S:4,000円/A:3,500円/友の会S:3,500円/友の会A:3,000円
TEL としまみらいチケットセンター 03-3590-5321

G 30日(金)~6月8日(日)
梅蘭芳生誕120周年記念事業
京劇 霸王別姫~漢楚の戦い~

出演 項羽役…黄斉峰(ホワン・チフォン)/
虞姫役…王長君(ワン・チャンジュン)
料金 【全席指定】8,500円
TEL 京劇公演事務局(楽戯舎) 03-5281-8066

G 29日(木)~6月1日(日)
2014 アルトー24時

脚色・構成・演出 芥 正彦
料金 【全席自由】前売:4,000円/当日:4,500円/学生:2,000円/
平日割引前売:3,200円/当日:3,700円
TEL 江戸糸あやつり人形座 042-201-5811

G 20日(火)~6月1日(日)
錬金術師

原作 ジョン・ベンソン **監** 安西徹雄 **上演台本・演出** 鈴木勝秀
出演 橋爪 功/金田明夫/藤田宗久/高間智子/竹本純平 ほか
料金 【全席指定】前売当日:5,500円
TEL 演劇集団 03-5828-0654

	1日	2月	3火	4水	5木	6金	7土	8日	9月	10火	11水	12木	13金	14土	15日	16月	17火	18水	19木	20金	21土	22日	23月	24火	25水	26木	27金	28土	29日	30月									
Concert Hall	A		B		C			D				E			F		G	H		I	J	K	休館日		L	M				N									
Playhouse	A											B																											
Theatre East	A								B				C																										
Theatre West	A				B						C		D			E																							

Concert Hall 音楽略号:指揮(Cond)/ソプラノ(Sop)/メゾ・ソプラノ(M.Sop)/アルト(Alt)/テノール(Ten)/バリトン(Bar)/バス(Bass)/コーラス(Chor)/フルート(Fl)/オーボエ(Ob)/クラリネット(Cl)/

A 1日(日) 14:30開演 無料

陸上自衛隊中央音楽隊 第142回定期演奏会

出演 武田晃(隊長)<(Cond)/陸上自衛隊中央音楽隊
曲目 ケクラン/ 民衆の祭りのためのコラルー ほか
料金 無料(要事前申込)
TEL 陸上自衛隊中央音楽隊演奏班 048-460-1711(内線4622~3)

B 3日(火) 19:00開演

マリヤ・マクサコワ&モスクワ・マラジョージヌイ室内オーケストラ

出演 ヴァレーリー・ヴォロナ<(Cond)/マリヤ・マクサコワ(M.Sop)/モスクワ・マラジョージヌイ室内オーケストラ
曲目 〈第一部〉
モーツァルト/ディヴェルティメント
ドニゼッティ/オペラ「ラ・ファヴォリータ」より<レオノラのアリア>
ビゼー/オペラ「カルメン」より<ハバネラ>
マスカーニ/オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」より
〈第二部〉
チャイコフスキー/バレエ「くるみ割り人形」より<ロシアの踊り>(トレバック)
ボドガイツ/ヴァロナと室内オーケストラの音楽
フロロフ/2台のヴァイオリンの為のディヴェルティメント
アングダーソン/ブリנק・ブレンク・ブランク ほか
料金 S:6,000円/A:5,000円/学生:3,000円
TEL キョードー東京 0570-550-799

C 5日(木) 18:00開演 無料

都立総合芸術高校音楽科 発表演奏会

出演 都立総合芸術高校音楽科生徒校内オーディション合格者
料金 無料
TEL 都立総合芸術高校音楽科 03-3354-5288

D 8日(日) 13:30開演 無料

デアクライス・ブラスオルケスター 第5回定期演奏会

出演 佐川聖二<(Cond)/須川展也<(Sax)/中村文栄<(Org)/デアクライス・ブラスオルケスター
曲目 サン＝サーンス/交響曲第3番「オルガン付き」
真島俊夫/BIRDS-アルトサクソフォンと吹奏楽の為の協奏曲
ピアソラ/エスಕ್ಕロ、オブリビオン、リベルタンゴ
料金 無料(要事前申込み)※別途当日券有
TEL 演奏会事務局 090-5504-9415

E 12日(木) 19:30開演 BOX

東京芸術劇場ナイトタイム・パイプオルガンコンサート Vol.5

出演 早島万紀子<(Org)>
曲目 テイトゥルーズ/聖歌「舌よ歌え」
アラン/3つの舞曲 ほか
料金 【全席指定】1,000円
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

F 15日(日) 18:00開演

第53回同立交歓演奏会

出演 立教:田中一嘉、同志社:小田野宏之<(Cond)/立教大学交響楽団/同志社大学交響楽団
曲目 チャイコフスキー/交響曲第5番(立教)
ブラームス/交響曲第2番(同志社) ほか
料金 S:1,500円/A:1,000円
TEL チケット管理(露木) 080-5426-7506

G 17日(火) 14:00開演 無観客

東京芸術劇場ティータイム・コンサート Vol.6

出演 後藤正孝<(Pf)>
料金 【全席自由】入場無料
(当日13時より5階コンサートホール前にて整理券配布・約150枚)
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

H 18日(水) 19:00開演 BOX

芸創提携事業 アルド・チッコリーニ ピアノ・リサイタル

出演 アルド・チッコリーニ<(Pf)>
曲目 ブラームス/4つのバラードOp.10
グリーグ/ピアノ・ソナタOp.7
ボロディン/小組曲
カステルヌオーヴォ=テデスコ/ピエティグロッタ1924 ナポリ狂詩曲
料金 S:8,500円/A:7,000円/ B:5,500円
TEL 藍インターナショナル 03-6228-3732

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

お問合せ 東京芸術劇場 ボックスオフィス 0570-010-296 休館日を除く 10:00～19:00
BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演

3月31日(月)20:00～4月1日(火)5:00まで、消費税率改定に伴うメンテナンス作業のため、東京芸術劇場ボックスオフィスでのチケット予約に関わる全サービスを一時休止させていただきます。

ファゴット(Fg)/サクソス(Sax)/ホルン(Hr)/トランペット(Tp)/トロンボーン(Tb)/ヴァイオリン(Vn)/ヴィオラ(Va)/チェロ(Vc)/コントラバス(Cb)/ハープ(Hp)/ピアノ(Pf)/チェンバロ(Cemb)/オルガン(Org)

I 20日(金) 19:00開演 BOX

芸創提携事業 ザ・フィルハーモニクス

出演 ザ・フィルハーモニクス/
ティボール・コヴァーチ、ローマン・ヤーノシュカ<(Vn)/
ティロ・フェヒナー<(Va)/シュテファン・コンツ<(Vc)/
エーデン・ラーツ<(Cb)/ダニエル・オッテンザマー<(Cl)/
フランティシュク・ヤノーシュカ<(Pf)>
曲目 ピアソラ/リベルタンゴ
プロコフィエフ/ロミオとジュリエット
クライスラー/美しきロスマリン
ブラームス/ハンガリー舞曲第5番
リムスキー=コルサコフ/くまばちの飛行
コリア/スペイン ほか
料金 【全席指定】6,500円
TEL ジャパン・アーツびあ 03-5774-3040

J 21日(土) 15:00開演 BOX

東京芸術劇場Presents クラシカル・ブレイヤーズ東京 演奏会

出演 有田正広<(Cond)/仲道郁代<(Pf)/クラシカル・ブレイヤーズ東京(オリジナル楽器使用)
豊嶋泰嗣(ソロ・コンサートマスター)
曲目 メンデルスゾーン/「夏の夜の夢」序曲木長調op.21
モーツァルト/ピアノ協奏曲第23番イ長調K.488
シューベルト/交響曲第7番短調D759「未完成」
料金 S:4,000円/A:3,000円/B2,000円
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

休館日|23日(月)・24日(火)

休館日の施設のご利用案内及びお電話でのお問合せ受付は行っておりません。
また、館内店舗(一部店舗を除く)は閉店しておりますのでご了承下さい。
※原則未就学児のご入場はお断りしています。
※プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。
※最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。

M 26日(木) 19:00開演 BOX

都民劇場音楽サークル第618回定期公演 イザベル・ファウスト&アレクサンドル・メルニコフ

出演 イザベル・ファウスト<(Vn)/アレクサンドル・メルニコフ<(Pf)>
曲目 モーツァルト/ヴァイオリン・ソナタ第29番
シューベルト/幻想曲D.934
シューマン/3つのロマンス
ブラームス/ヴァイオリン・ソナタ第3番
料金 S:7,000円/A:6,000円/B:5,000円/C:4,000円
TEL 都民劇場 03-3572-4311

N 29日(日) 14:00開演 BOX

東京都交響楽団 「作曲家の肖像」シリーズ Vol.97

出演 ヤクブ・フルシャ<(Cond)/東京都交響楽団
曲目 スーク/組曲「おとぎ話」
交響詩「夏の物語」
料金 S:5,800円/A:4,800円/B:3,800円/C:2,800円/Ex:2,000円
TEL 都響ガイド 03-3822-0727

Playhouse

A ~8日(日) BOX

梅蘭芳生誕120周年記念事業 京劇 霸王別姫～漢楚の戦い～

出演 項羽役…黄齐峰<ホワン・チフオン>/
虞姫役…王長君<ワン・チャンジュン>
料金 【全席指定】8,500円
TEL 京劇公演事務局(楽戯会) 03-5281-8066

5・6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
13:00														
14:00														
17:00														
19:00														

Theatre East

A ~1日(日) 15:00開演

2014 アルトー24時

脚色・構成・演出 芥 正彦
料金 【全席自由】前売:4,000円/当日:4,500円/
学生:2,000円/平日割引前売:3,200円/当日:3,700円
TEL 江戸糸あやつり人形座 042-201-5811

B 8日(日)~22日(日) BOX

マームとジブシー 「AAA かえりの合図、まったた食卓、そこ、きっと――」

作・演出 藤田貴大
出演 石井亮介/伊東茄那/荻原 綾/
尾野島慎太郎/川崎ゆり子/斎藤章子/中島広隆/成田亜佑美/波佐谷聡/沼田実子/吉田聡子
料金 【全席自由】予約:3,000円/当日:3,500円 ほか
TEL マームとジブシー 090-9137-8647

6月	8日	9月	10月	11月	12月	13日	14日	15日	16月	17日	18日	19月	20日	21日	22日
14:00															
18:00															
19:30															

C 27日(金)~29日(日) BOX

芸創dance モモンガ・コンプレックス⇄珍しいキノコ舞踊団「Together さ。」

舞台・構成・演出 白神ももこ/伊藤千枝
出演 モモンガ・コンプレックス(北川 結/臼井梨恵/夕田智恵/白神ももこ)
珍しいキノコ舞踊団(茶木真由美/矢嶋里美/岡里蓉子/佐々木美和/仁科 幸/伊藤千枝)
料金 【全席自由】前売:3,500円/当日:4,000円/25歳以下:2,500円(要証明書) ほか
TEL モモンガ・コンプレックス 070-6562-7469

6月	27日	28日	29日
14:00			
15:00			
19:30			

★=終演後に伊藤千枝と白神ももこによるポストパフォーマンストーク

Theatre West

A ~1日(日) 14:00開演 BOX

鍊金術師

原作 ジョン・ベンソン **訳** 安西徹雄
上演台本・演出 鈴木勝秀
出演 橋爪 功/金田明夫/藤田宗久/高間智子/
竹本純平 ほか
料金 【全席指定】前売当日:5,500円
TEL 演劇集団円 03-5828-0654

B 5日(木)~9日(月) BOX

江戸糸あやつり人形結城座380周年記念公演 第一弾 半七捕物帳異聞

脚本・演出 加納幸和
出演 結城孫三郎/結城千恵 ほか
料金 【全席指定】前売当日:5,500円/学生:3,000円(結城座のみ取扱い)
TEL (公財)江戸糸あやつり人形 結城座 042-322-9750

6月	5日	6日	7日	8日	9月
14:00					
19:00					

C 10日(火) 19:30開演

中島淳一 一人演劇「マクベス」

出演 中島淳一
料金 【全席自由】前売:3,000円/当日:3,500円
TEL 劇団エーテル 092-883-8249

D 13日(金) ~22日(日)

WBB vol.6 そして、今夜もニコラシカ

演出 徳尾浩司(とくお組)
出演 佐野瑞樹/佐野大樹
料金 【全席指定】前売当日:5,500円
TEL サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

6月	13日	14日	15日	16月	17日	18日	19日	20日	21日	22日
13:00										
14:00										
18:00										
19:00										

E 29日(日) 13:00開演

京葉旭会第四回筑前琵琶演奏会

料金 【全席自由】前売当日:2,000円
TEL 筑前琵琶京葉旭会事務所 03-3957-7432

Gallery 1				
4	1日(火)～6日(日) 無 料 Gallery1・2 Atelier East・West同時開催 2014水墨画・水彩画公募展 第18回日本の美しい自然 TEL 元浜 03-3970-7566	10日(木)～13日(日) 無 料 美の視点 TEL 株式会社アルファネオ 03-3234-3902	15日(火)～20日(日) 無 料 第24回 豊島芸術書展 TEL 事務局 増田 03-3955-4608	29日(火・祝)～5月1日(木) 無 料 藤村洋子と仲間たち展 『好きから生まれた布つなぎ』 TEL 藤村 044-955-4400
	～1日(木) 無 料 藤村洋子と仲間たち展 『好きから生まれた布つなぎ』 TEL 藤村 044-955-4400	3日(土・祝)～7日(水) 無 料 2014美術の祭典 目にも美味しい美術展 TEL 藝術出版社 03-3464-4451	8日(木)～11日(日) 無 料 第31回 日本芸術協会 美術展 TEL 早川 0463-32-1029	18日(日)～28日(水)予定 無 料 第9回 新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館 まちかど子ども美術展 TEL としま未来文化財団 03-3981-4732
6	2日(月)～5日(木) 無 料 子どもの力 図書館のための ブックフェア2014 TEL 日本出版販売株式会社 03-3233-4817	6日(金)～11日(水) 無 料 紙画 智彩会展 TEL 菅野 048-833-2075	12日(木)～17日(火) 無 料 Gallery1・2同時開催 第43回 鳴鶴流天溪会書道展 TEL 川村 090-8720-4872	18日(水)～22日(日) 無 料 第16回 巧技ソサエティー美術展 TEL 浅賀 03-3398-6106
				26日(木)～30日(月) 無 料 2014年 国際書画選抜展 TEL 国際書画連盟 03-3837-4445

Gallery 2				
4	1日(火)～6日(日) 無 料 Gallery1・2 Atelier East・West同時開催 2014水墨画・水彩画公募展 第18回日本の美しい自然 TEL 元浜 03-3970-7566			
	8日(木)～11日(日) 無 料 細野日本刺繍教室 作品展 TEL 細野 03-6760-3453			
6	12日(木)～17日(火) 無 料 Gallery1・2同時開催 第43回 鳴鶴流天溪会書道展 TEL 川村 090-8720-4872			

Atelier East				
4	1日(火)～6日(日) 無 料 Gallery1・2 Atelier East・West同時開催 2014水墨画・水彩画公募展 第18回日本の美しい自然 TEL 元浜 03-3970-7566	7日(月)～13日(日) 無 料 萬事気嫌よく桂枝雀展 TEL 宮崎 049-258-5102	16日(水)～20日(日) 無 料 矢澤利彦 絵画展 TEL 矢澤 03-5951-6908	23日(水)～27日(日) 無 料 妙福寺附属 東京陶芸倶楽部 第14回 小樽窯作陶展 TEL 東京陶芸倶楽部 03-3978-0211
	～1日(木) 無 料 第29回 童心会書展 TEL 佐々木 03-3900-0592	2日(金)～7日(水) 無 料 現代写真研究所 本科修了展 TEL 杉原 03-3355-1461	9日(金)～11日(日) 無 料 TACT/FESTIVAL 劇団B-Floor(タイ)による 展示・公演・ワークショップ <small>ほか</small> TEL 東京芸術劇場 03-5391-2111 ※ワークショップは一部有料	17日(土)～22日(木) 無 料 峯孝・小熊秀雄小品と会員展 TEL 小池 03-3971-6965
6	6日(金)～11日(水) 無 料 第10回 NCC写真展 ときめきの出会いを求めて TEL フジカメラ 03-3917-0355	12日(木)～17日(火) 無 料 第22回 翠耀会展(日本画) TEL 福島 03-3919-8138	25日(水)～30日(月) 無 料 月の会 絵画展 TEL 中村 03-3961-6876	23日(金)～25日(日) 無 料 第14回 造形スタジオ・バル作品展 TEL 長 03-3989-8608

Atelier West				
4	1日(火)～6日(日) 無 料 Gallery1・2 Atelier East・West同時開催 2014水墨画・水彩画公募展 第18回日本の美しい自然 TEL 元浜 03-3970-7566	7日(月)～13日(日) 無 料 第28回 金曜会 絵画展 TEL 小笠原 03-3969-4982	15日(火)～20日(日) 無 料 第18回 遊彩会展(日本画) TEL 多々良 03-3923-5591	22日(火)～27日(日) 無 料 写真展「大震災 釜石レポート」 TEL 菊池 03-3491-7165
	～1日(木) 無 料 いけばな小原流東京支部 北地区・埼玉地区花展 TEL 山中 03-5241-0793	2日(金)～7日(水) 無 料 NAF展 TEL 藤島 03-3956-0960	8日(木)～11日(日) 無 料 現代写真研究所 第40期基礎科修了展 TEL 杉原 03-3355-1461	29日(火・祝)～5月1日(木) 無 料 いけばな小原流東京支部 北地区・埼玉地区花展 TEL 山中 03-5241-0793
6	1日(日)～5日(木) 無 料 大東文化大学写真部学外展 TEL 佐藤 080-1242-7436	6日(金)～11日(水) 無 料 第六回 銅の会 TEL 土師 03-5982-8205	12日(木)～17日(火) 無 料 多摩川・風景と人の出会い (仮称) TEL 平山 090-7004-2941	18日(水)～22日(日) 無 料 第13回 清泉会・清光会 作品展 TEL 木村 03-5966-5329
				25日(水)～30日(月) 無 料 第15回 啄葉会展 TEL 山口 03-3961-0141

PICKUP

| お問合せ | 東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116

シリーズ講座「池袋学」
5月18日(日)・24日(土)・6月8日(日) シンフォニースペース(5階)

芸劇と立教大のタッグで、シリーズ講座開始!

劇場と大学が一体となって、新しい都市学を始めます。これからの池袋を考えるために、これまでの池袋を振り返ります。池袋に住む人、働く人、学ぶ人、遊ぶ人、さまざまな方が参加できるシリーズ講座を展開。春は芸劇、秋は立教大で開催。春の講座は下記のとおりです。

5月18日(日) 14時～16時	講師:尾崎真人
	池袋モンパルナスについて
5月24日(土) 14時～16時	講師:丸山 昭
	トキワ荘について
6月 8日(日) 14時～16時	講師:八木忠栄
	セゾン文化と池袋について

会 場	東京芸術劇場シンフォニースペース(5F)
料 金	各回1,000円
定 員	70名

詳細は、HPにて発表いたします。

お申込みもHPから。たくさんの方のご参加をお待ちしております!

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)／立教大学

第9回新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館	※東京芸術劇場は15日～16日は保守日のため、17日(土)から
5月15日(木)～28日(水) 東京芸術劇場、東武美術画廊(東武百貨店内)、立教大学、ルミネ池袋	ほか

新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館は、かつての池袋モンパルナスの精神を現代に受け継ぎ、官民学が連携して文化芸術資源を次世代に伝えていくことを目的としたアートイベントです。池袋モンパルナスが有していた多くの資源の中から、毎年いくつかの題材を取り上げ、それをテーマとして、池袋駅西口一帯に点在する劇場、ギャラリー、店舗なども連携しながら、回遊性のある事業を展開していきます。

回遊De Art 2014

アートディレクター北川フラム氏ディレクションで好評を得た、回遊De Artが今年も開催!

今年の回遊美術館のテーマは「児童性」。このテーマに即し、今回、北川フラム氏が選出した作家はこどもの創造力、感受性を広げられるような作品を創る塩澤宏信氏。やさしさ溢れる作品が劇場内のオープンスペースに展示されます。また、隣接するアトリエにて現代美術家パルコキノシタ氏のワークショップを開催。この機会に現代アートの魅力にじかに触れてみて下さい!

参加作家	塩澤宏信
会 期	5月17日(土)～5月28日(水)
会 場	東京芸術劇場ロワー広場(B1F)



ワークショップ「作ってあそぼうみんなで街づくり」「かぶりもの大行進」

講 師	パルコキノシタ
会 場	東京芸術劇場アトリエウエスト(B1F)



詳細は回遊美術館HPにて発表いたします。
<http://www.kaiyu-art.net/>

主催:新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館実行委員会

デヴィッド・ルヴォー vs 野田秀樹 With 長谷部浩

演劇がもたらす喜び

昨年の11月のある日「明日、野田秀樹がルヴォーのワークショップに参加するので、ご覧になりませんか」と急な知らせを受けた。私は1997年に『傷ついた性 デヴィッド・ルヴォー演出の技法』を書くにあたって、ワークショップに参加した経験がある。懐かしさもあり、ルヴォーの現在を見届けたくもあり、誘いを受けた。この対談が行われた当日の朝、水天宮ビッドで若い役者にまじって生き生きと動く野田秀樹の姿を見た。 構成・文：長谷部 浩

写真：アポロ創研（平田光二）

ついに英国演劇も身体を意識し始めた

長谷部 演出家でもある野田さんがワークショップに来て、デヴィッドとしてはやりづらくなかったですか？

ルヴォー いや、楽しかった。来てくれて嬉しかった。驚いたけど。秀樹は今『MIWA』の舞台があって忙しいし、秀樹の参加を想定したワークショップではなかったからね。

野田 楽しかったし、印象的な言葉を聞けて、久しぶりに凄くありがたかった。僕としては、若い参加者が、ルヴォーのいい言葉をちゃんと受け止めているのかなと逆に心配したね。例えばあるエチュードで僕に「自分との違いをみつけろ、そこを誇張しろ」って指摘がありましたよね。あの時、何も言えなかった

んだけど、まぶたにキスをする案がぱっと浮かんだ。

ルヴォー まさに。最高の例だね！ どうしてその場で言わなかったの？

野田 だから、言わないで、黙ってまぶたにキスしたの。

ルヴォー （爆笑）秀樹の即興についての話が面白かった。特に日本人の俳優は苦手だといっていましたね。どうしてなんだろう？

野田 僕がワークショップをする時に、いつも感じることだけど、日本の役者って、身体も気持ちも、開くまでに時間がかかるのよ。ワークショップは、開いた身体で、基本的に即興ができないとダメなんです。もちろん役者によって、即興に向き不向きもあるとは思。でも一般的に、特に今の日本の若い役者さんは、演出家の指示を待つようになっている。

自分からぱっと出て即興するのは苦手。それは日本の教育と関係しているかもしれない。

ルヴォー まったくその通りで、やっぱり教育にあるんだろうね。実は今回のワークショップの1日目にもこの話をしたんだけど、思い出すのは、tpt（シアタープロジェクト・東京）の初期、毎年定期的にワークショップをやっていた頃、俳優や演劇人ばかりでなく、色んな人が来ていたんです。僕が意図的にオープンにしていたんだけど。

長谷部 俳優経験のない批評家の僕とかね（笑）

ルヴォー いやいや、もっと演劇から遠い人たちも。その中で一人、美術の先生が参加してくれた。その人が「実は、日本の教育は教室の座席の段階で問題があるんだと思います」と（笑）「それはどういうことですか？」つ

て聞いたら、「椅子が机と繋がっているんです。だから椅子に座ると、まるで囚われたみたいに動けない。また生徒が教師に問いかけることが奨励されていない、その結果、教師の言葉を受け入れるだけになってしまう」。まだその問題は続いている気がする。だから今回のワークショップでも、質問があったら聞いてくれ、そうじゃないと思う時は言ってくれ、そうじゃないまではいなくても、僕が言ったことに違和感があったら是非言ってくれて最初に参加者に説明するんだけどね。でもまあ、問いかけるためには自信が必要だから、その問題かなとも思う。それともう一つ、これは誰もが持っている、失敗することへの恐怖があると思いますね。

野田 それなんだよ。日本人は特に失敗したくない気持ちが強いからね。ワークショップは本番を控えた稽古とは違って、失敗とか成功とかはないんだから自信を持ってやればいいんだけど。

ルヴォー むしろ失敗は必要だと思うけどね。だって本番でも絶対に失敗はするんだから。この間、「即興をやるには自分は失敗するんだという事実を受け入れないといけない」という話をしたんです。失敗を避けようとするわけじゃないけど、どうやったって失敗はする。だから失敗と上手くやっていく術を学ぶことが大切なんだろうね。成功とうまくやることは無理だと思うしね（笑）

原爆投下を題材とした『MIWA』

長谷部 デヴィッドが今回の来日で、野田さんの新作の『MIWA』を観たということで、感想を聞きたいんですが。



野田 秀樹

ルヴォー 秀樹が今も生きている人物を芝居にすることに興味を持った。野田さんが長崎出身だっていうのは知っていたんだけど、今回初めて美輪さんが長崎出身だと知りました。この作品が美輪さんの伝記には全然なっていないところに感動した。伝記というよりは、ずっと奇妙で複雑です。アーティストという存在が、どれだけ他から阻害されているかを描いている作品だと思った。

長谷部 僕が思ったのは、『MIWA』はゲイ・ビープルが疎外されている問題に限定されないところ。誰でも「もう一人の自分」を抱えていて、成長するに従って、「普通」から逸脱しようとする自分を殺していく。そういう普遍的な物語だと思いました。

ルヴォー そう。でもね、日本で育っていないアウトサイダーから見ると、それは凄く日本的な感覚だと思う。「普通」とされる世界から切り離されているという強い感覚。まるで「屈辱」を相手に、絶え間なく英雄的な折衝をしているような。『MIWA』はもちろんアーティストの物語だけど、人間というものの物語でもある。美輪さんの場合は、「世界はこういう場所だと教えられたけど、実際は違う」と意志を持って主張している。そして、オスカー・ワイルド（19世紀後半の英国の小説家 『ドリアン・グレイの肖像』など耽美的な作風で知られる）という登場人物が、実に冴えていると思う。美輪さんとオスカー・ワイルドは、完全に世界から屈辱を受けた人間だと思うから。

野田 僕が演じたのは、オスカワアイドル（笑）最近俺もオスカー・ワイルドって言うちゃうけど（笑）

ルヴォー 秀樹という作家の特質として、テーマが重層的なところがあると思います。まだ誰も繋げて考えたことのない人と人との繋げたい欲求が、作品の根底にある。ちよつとトム・ストッパードを思い出します。僕が初めて日本の演劇に触れたのがロンドンで、寺山修司だった。1978年の『奴婢訓』（リヴァーサイド・スタジオ）は大変な衝撃だった。秀樹と寺山は同じではないし似てもいないけど、寺山作品を観た時に感じた気持ちを、『MIWA』を見ていて思い出しました。

長谷部 野田さんも1973年に日生劇場で上演されたピーター・ブルック演出の『真夏の夜の夢』を若い頃観て影響を受けたって以前から語っていますね。外国のカンパニーの公

演が若い、これから演劇人になる人にインパクトを与える例は、国の東西にかかわらずあるんでしょうね。

野田 確かサイモン・マクバーニー（英国の演出家 2008年に初演され高い評価を受けた『春琴』が昨年再演された）も寺山を観たって言っていたものね。

ルヴォー 僕もピーター・ブルックの『真夏の夜の夢』を観ています。マクバーニーとは同じ年なんだけど、僕らの世代の演出家は全員、あの舞台を観たって言っているんだよね。本当に全員観たのかな。疑問だけど（全員爆笑）。僕は、先生がチケットを4枚だけ手に入れてくれてラッキーだった。いずれにしろあの舞台がいろんな人の接点になっているのは面白いね。シェイクスピアばかりではなく、演劇についての保守的な固定観念を破ったという点で、とても大切な作品だった。



デヴィッド・ルヴォー

今どうしても言っておきたいんだけど、秀樹が作・演出した『パンドラの鐘』を観た時のことがどうしても忘れられないんだ。僕の記憶の中に物凄く強く残っている。芝居を観ていて、何かの窓が開く瞬間ってあると思うんだけど、あの作品はまさに僕の日本への窓を開けてくれた。衝撃と驚きを感じたのをよく覚えている。そして昨日『MIWA』でも似た感覚を持った。何が言いたいかというと、国際的に影響を与える作品っていうのは、逆説的なようだけれど、その作品が生まれた国ならではのものを持っていないと、国際的な共鳴は呼ばないと思う。『MIWA』は非常に興味深く、また感情に強く訴えかける。もちろん、秀樹が日本語で書いた言葉は、ほんの一部しか理解できないけど、観ていて何だか「理解できる」と思える作家は他に一人しかいない。

それが三島由紀夫なんだよね。凄く不思議なんだけど、言葉やフレーズが明確に聞こえてくる。

野田 やっぱり自分の生まれた長崎からしか、ある意味、世界の演劇にはいけないと思い始めている。長崎の原爆について書いたのは『バンドラの鐘』と『MIWA』の2本だけなんだ。やっぱり小さい時から、原爆が落ちた街だっという意識が知らずにずっとあるんだよね。でも20代、30代の頃は、原爆の問題を演劇で表現しようとは全然思わなかったのに、1999年に43歳で『バンドラの鐘』を書いて、結局そこに行きついたのかもしれないね。

ルヴォー 世界的にみると人によっては重大な事件として9.11があったわけだけど、歴史的に見たら、原爆投下は9.11よりずっと大きな出来事だと僕は思う。これだけ重大な事件となると、表現するための文脈や言語をみつ

けるのに長い時間がかかる。『バンドラの鐘』でも今回の作品でも、原爆を表現するために秀樹が使ったイメージは、まず、並外れて美しい。それは装飾的な意味でなく、稀なほど、もう信じられないくらい、感情的視覚的な成熟があると思う。つまり秀樹は、僕たち観客がああの出来事を直接に感じられるような言語と表現をみつけた。見つけるのに43歳までかかったとしても驚かない。むしろ早いくらいだと思う。

長谷部 小説家をふくめて日本を代表するような作家は、原爆と天皇をテーマとする作品を書く時がくるのだと思っています。

野田 1999年『バンドラの鐘』を書いた時は、実は大英博物館の隣のホテルに2か月こもっていたんだよね。僕が決めたのは、大英博物館は巨大だから、一日一部屋だけゆっくり観て、題材を探そうと思った。まず『バンドラの鐘』の冒頭に「一艘の舟」のイメージが

で入って死んでいく結末が浮かんだ。

ただそれでも、原爆の話を、僕のような軽い作風の劇作家が書いていいんだろうかと、ずーっと悩んでいた時に、サイモン・マクバーニーが「秀樹それは絶対書くべきだよ。その鐘を原爆に見立てる発想は、長崎に生まれた日本の劇作家しか思いつかない」と言ってくれたのが大きかったですね。

ルヴォー 僕自身は、祖母から「ヒロシマという場所に落とされた1発の爆弾で戦争が終わったのよ」と聞かされた記憶がある。その話を聞かされた時の自分がどこにいたかもはっきり覚えています。僕は5歳で、母のアイロン台の真下にいた。どうしてそんな話を僕に話したのか、いま思うと不思議だよね。祖母と僕の母は、終戦の時は中国にいたから、その体験もあったんだらうと思う。僕の5歳の脳の中で「ヒロシマ」って聞いて、その音がね、まるで激しい突風みたいだと思ったのを覚えている。子供だったから「もしその爆弾が戦争を終わらせたなら、どうしてもっと早く落とさなかったの」って訊いた記憶がある。日本に来るようになって、実際に広島に行った時、エルサレムのような特別な場所と同じで、ここで起きたことはもう、人間にとって後戻りできないと思い知らされた。

あの鐘と『娘道成寺』のことで言うよね。鐘の中から聞こえるあの声と、鐘の外を駆けずり回る人物の声あのイメージこそが……

長谷部 よく覚えているね!堤真一が演じたミスヲですね。

ルヴォー いやいやいや……

野田 14年前だよ!

ルヴォー うん、でも覚えているんだよね。日本に来るようになるずっと前、14歳の時に三島由紀夫の死について書かれた本は読んだりしていたけど、当時、三島由紀夫を理解しようと、英文でたくさん読んでいた時期でね。その時はちょうど『葉隠入門』を読んだばかりだった。三島由紀夫が恐らく1945年終戦の年に感じた「ドアが音を立てて閉まった」感覚って、これなんだろうな、と。三島由紀夫にはまだ、閉じられたドアの向こうの声が聞こえていた。だから彼は、聞こえなくなった世代の人たちに必死に伝えようとしていた。そしてこれはかなり切迫した問題なんじゃないかと、僕には感じられた。

FUKUSHIMA以降の演劇はどこへ

長谷部 日本に起こった事件で言うと原爆投下と敗戦に次ぐのは、3.11に起こった東日本大震災とフクシマの原発事故だと思います。あらゆる作品が福島以降にその見え方、顔を変えてしまいました。

野田 デヴィッドがさっき言ったみたいに、長くかかるんだと思う。日本人の反応は、いずれにしろ非常に性急だった。事故があったらすぐ現地に行って何かをする人、そういうアーティストもいてもいいと思うけど、でもそうじゃないアーティストもいる。原爆の話だって43歳になって初めて書くことができた。すぐに題材にできるようなそんな簡単な事件ではないと思っています。

ルヴォー ジャーナリストとして被災地に行くのとはまた別だと思う。仕事が違うから。その出来事を表現するためのイメージや言葉や文脈をみつければとするなら、それは遥かに時間がかかる。改めて言うけれど、秀樹が書いているのは歴史劇だと思う。シェイクスピアが書いたのと同じ、何故我々はこうなったのかを理解しようとする歴史劇なんだ。シェイクスピアが書いていた頃も、国が激しく揺れた直後のことだった。当時のイングランドはあまり影響力もなかったけれど、イングランドはそれから世界に対して影響力を増していった。シェイクスピアは言葉もまた、誰も使ったことのない使い方をしていた。秀樹も独自の日本語の使い方をしている。自分たちの言語には、こんな可能性もあるんだと教えられ、観客の愉しみになる。あんまり大きな言い方はしたくないけど、秀樹の演劇の美しさは、偉大なこの国の文化の中で、悪戯心いっぱいいの救いになっていると思う。

長谷部 年表を比較すると、野田さんがロン



長谷部 浩

ドンから戻ってきた時期とデヴィッドがtptで立て続けに作品を発表していた時期と、見事に重なっていますね。

野田 帰ってきてすぐ。

ルヴォー あの時の口論は楽しかったね!!! (笑)NHKでね! まあ口論ではないけど、本当にいい話ができた。秀樹は凄くイラッとしていて……

野田 そのシチュエーションがさ。僕がロンドンにいた間に、何で英国の演出家が日本に来て、英国のリアリズムがいいとか言われているんだ! 俺がいない間に! (笑)それをルヴォーに直接言ったの。俺は凄くイギリスのリアリズムが嫌いで、いらっとしてるって。ルヴォーは初めて日本で批判を受けたらしく (笑)こうやって聴いてたのに、ルヴォーが急にこうやって (笑) (通訳から補足:後ろに寄りかかって聴いていたのが、身体を起こしていたそうです)

ルヴォー あれは最高だった。そう、秀樹がいない間にこっそり忍び込んだんだよ。トロイア戦争だね。

野田 でもね、ルヴォーの答えがよかったの。僕はリアリズムじゃないんだ、と。

ルヴォー 言った、うん。リアリズムには全く興味がないからね。いや誤解のないように言っておくけど、批判されたことないからぶんぞり返ってた、ってわけじゃないよ。ただ…

野田 退屈していたの?

ルヴォー 違う! 楽しくなっていたんだよ。あの対談はNHKの大村雪絵さんが企画したんだけど、僕はそもそも、「はい、はい」と誰一人言い返してこない環境で西洋人が芝居を演出しにくるみたいなのが嫌で、tptを作った。人と人との繋がりを作りたいと思っていたんだよね。そうしたらカンカンに怒った秀樹が色々言ってきて、最高だと思った。「やっ」と話せる相手が現れた!」と思った。「キリスト教という要素を抜いてドストエフスキーをやりたい!」(『贖作・罪と罰』1995年初演)という野田さんに「キリスト教を抜いたら無理だ」と返して言い合いになったり (笑)

野田 でも本当にルヴォーが日本でやった舞台については、とっても感謝しているわけ。ルヴォーが言った通り、海外の演出家っていうのはちょっと来て、まあお金を稼ぎにきたのか何なのか分からない例が多かった。ルヴォーは初めてちゃんと日本に腰を据えて、

ちゃんとい作品を作った。間違いなく日本の演劇界は感謝している。

ルヴォー 『MIWA』を観ても『バンドラの鐘』を観ても、秀樹の演出には、ラディカルに物語を、しかも視覚的に伝える術が間違いなくあるよね。でももし演劇の一番大切な仕事が「見えないものを見えるようにすること」だとするとその術にたけた巨匠だといつていいと思う。しかも秀樹は俳優で演出家だから、演出家の僕とは、存在それ自体が違う。僕はブロードウェイのような既成の環境の中では問題を起こしがちで、時には周囲を相当怒らせたりもしているんだけど、同じような挑戦をしているからかもしれない。長谷部さんが言った通り演出のスタイルはかなり違うけど、感傷的な意味でなく、創り上げた舞台がもたらす喜びはとても似ているんじゃないかな。

通訳・翻訳: 薛 珠麗



今回のアイタイヒト

DAVID LEVEAUX

デヴィッド・ルヴォー 1957年、イギリス・ロンドン出身。1983年ユー・ジーン・オニール作『日陰者に照る月』でウエストエンド演劇賞を受賞。1993年『アンナ・クリスティ』、2000年『リアルシング』、2003年『ナイン THE MUSICAL』でトニー賞最優秀リバイバル・ミュージカル作品賞受賞。日本では、tptの芸術監督に就任した1993年『テレーズ・ラカン』で第1回読売演劇大賞演劇作品賞、紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞。現在に至るまで、多数の話題作を手がけている。

野田 秀樹 HIDEKI NODA

のだ・ひでき 劇作家、演出家、役者。1955年、長崎県出身。大学在学中に劇団夢の遊眠社結成、一大ブームを巻き起こし92年に解散。ロンドン留学を経て93年、NODA・MAPを設立。国内のみならず海外でも積極的に作品を発表。09年、東京芸術劇場の芸術監督に就任。多摩美術大学造形表現学部映像演劇学科教授。

長谷部 浩 HIROSHI HASEBE

はせべ・ひろし 1956年埼玉生まれ。慶應義塾大学卒。演劇評論家。現代演劇から歌舞伎まで幅広く評論活動続ける。著書に『傷ついた性 デヴィッド・ルヴォー演出の技法』(紀伊國屋書店)『野田秀樹論』、『4秒の革命』(河出書房新社)、『坂東三津五郎 歌舞伎の愉しみ』(編者 岩波書店)などがある。東京芸術大学美術学部教授

『THE BEE』English version. 作・演出・出演：野田秀樹
2014年5月～6月 パリ・国立シャイヨー劇場、
ルクセンブルク、ドイツ巡回公演決定!
www.geigeki.jp



出てくるけれど、具体的な舟を大英博物館で観たところから、想像をふくらましていった。そして一番最後に訪れたのは、実は中国館でした。そこに一つの巨大な鐘があった。僕その時に形態として「あ、原爆に似てる」って思った。と同時に『京鹿子娘道成寺』を思い出した。安珍清姫伝説の後日談にあたる歌舞伎舞踊です。この踊りの終わりには「鐘入り」といって白拍子花子が鐘のなかに入る。そこで天海祐希が演じるお姫さまのヒメジョが中

東京芸術劇場 貸出施設案内

東京芸術劇場は、ホールの他に、大小のリハーサル室や会議室、展示施設を併せ持ち、音楽や演劇などの練習、展示や講座、ワークショップ等の芸術活動を行うことができます。

●リハーサルルーム● Rehearsal Room (B2F)



オーケストラ、室内楽、合唱、舞踊、ダンス、演劇等の練習にご利用いただけます。

	広さ	定員	ピアノ	備考
リハーサルルームL	18m×9m	100名	グランドカワイEX	鏡・バレエバーあり
リハーサルルームM1	10m×8m	40名	グランドカワイRX-3H	鏡・バレエバーあり
リハーサルルームM2	10m×5m	30名	グランドヤマハC3B	
リハーサルルームM3	10m×10m	50名	グランドカワイRX-3H	
リハーサルルームS1	6m×4m	10名	アップライトカワイK8	
リハーサルルームS2	6m×4m	10名	アップライトカワイK8	

●シンフォニースペース● Symphony Space (5F)



オーケストラ、室内楽の練習のほか、会議でも使用可能です。

	広さ	定員	ピアノ
シンフォニースペース	170.8m ²	100名	コンサートグランドスタインウェイD-274

●ミーティングルーム● Meeting Room (5F・6F)



会議、研修、講演会等に。ミーティングルーム5と7は、室内楽等の練習にもご利用いただけます。

	広さ	定員	テーブル形状	備考
ミーティングルーム1	39.7m ²	20名	二人掛長机10台	
ミーティングルーム2	35.4m ²	12名	楕円机1台	
ミーティングルーム3	41.2m ²	12名	円形机1台	
ミーティングルーム4	42.3m ²	12名	円形机1台	
ミーティングルーム5	78.3m ²	28名	二人掛長机14台	グランドピアノ常設
ミーティングルーム6	34.8m ²	12名	楕円机1台	
ミーティングルーム7	79.2m ²	28名	二人掛長机14台	

※ミーティングルーム5・7の広さには前室のスペースも含まれます。6階のミーティングルーム5・6・7をご利用の団体で、車椅子ご使用のお客様がいらっしゃる場合は事前にお申し出ください。係員がご案内いたします。

その他、展示などにご利用いただける、ギャラリー1,2(5F)、アトリエースト、アトリエウエスト(B1F)がございます。
ご利用料金、申し込み方法など詳細はお問合せください。tel.03-5391-2111 www.geigeki.jp

●水天宮ピット●

水天宮ピット(正式名称「東京舞台芸術活動支援センター」)は、2009年4月1日に東京都墨田区八広へ移転した都立日本橋高校の旧校舎を転用して、2010年7月26日オープン。運営は東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)が行っています。

「大・中・小サイズの違う6つのスタジオと用途別の3つのスペース」での稽古場提供を中心に都民のための交流の場としても展開。より開かれた文化芸術の創造活動拠点を目指します。



■ 所在地	〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町18-14(東京都立日本橋高校旧校舎) 東京メトロ半蔵門線 水天宮前駅2番出口 徒歩2分
■ 規模	敷地面積2,570㎡、建物延床面積1,995㎡ スタジオ6室(大スタジオ:1室、中スタジオ:2室、小スタジオ:3室)、制作室、会議室等
■ 開館時間	10:00~22:00(休館日:年末年始・臨時休館あり)
■ お申込み・お問合せ	水天宮ピット TEL 03-6661-6901 / FAX 03-6661-6951 s-pit@geigeki.jp http://www.geigeki.jp/suitengu/index.html

芸劇 BUZZ 読者の皆様へ

🎵 ご意見・ご感想をお送りください! 🎵

本誌へのご意見、ご感想などをお寄せください。抽選で5名様に、「東京芸術劇場記念切手(オリジナル・フレーム切手)」(発売元:日本郵便株式会社)をプレゼントさせていただきます。応募要項は以下の通りです。

応募要項: 普通ハガキに、東京芸術劇場・季刊広報誌「芸劇BUZZ」の①入手場所、②ご意見・ご感想、③お名前、④お送り先ご住所及び郵便番号を必ずお書きいただき、下記、応募先あてにご郵送下さい。尚、郵送料はお客様ご自身のご負担とさせていただきます。 **プレゼントの抽選と発送:** プレゼントの当選は、商品の発送をもって代えさせていただきます。抽選は5月末に行い、6月中旬には、当選者にプレゼントを郵送にて発送させていただく予定です。尚、お受け取りしたおハガキはご返却致しませんので、あらかじめご了承ください。

応募先: 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-8-1 東京芸術劇場「芸劇BUZZ」係 あて **応募締切:** 2014年5月24日(土)消印有効

お問合せ先: 東京芸術劇場 事業企画課 広報営業係 Tel. 03-5391-2117



COVER PHOTO

TACT/FESTIVAL 2014

カミーユ・ボワテル

「リメディア〜いま、ここで」

2014年5月3日(土・祝)～6日(火・休)

東京芸術劇場プレイハウス

TACT/FESTIVAL 2014
「リメディア〜いま、ここで」舞台写真
Photo: Vincent Beaume

東京芸術劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre



Concert Hall



Playhouse

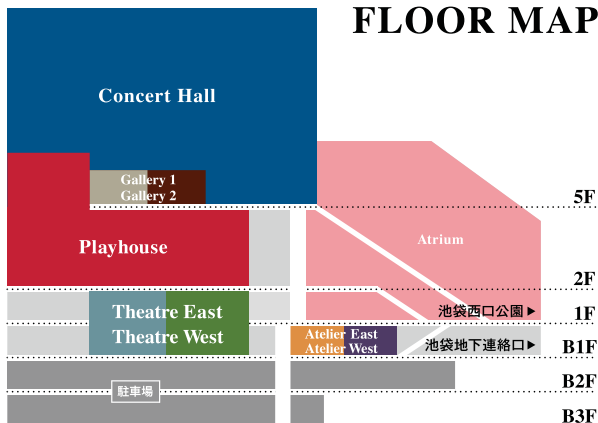


Theatre East



Theatre West

FLOOR MAP



1F 東京芸術劇場ボックスオフィス

(チケット・総合案内カウンター)

予約 0570-010-296
お問合せ (休館日を除く10:00～19:00)

5F 芸劇キッズルーム ミューズ

(託児サービス)

東京芸術劇場でご鑑賞のお客様に開演1時間前～終演後30分までお子様をお預かり致します。

利用料金 生後4ヶ月～1歳児:2,000円 / 2歳～6歳児:1,000円
4月以降の料金については、お問合せください。

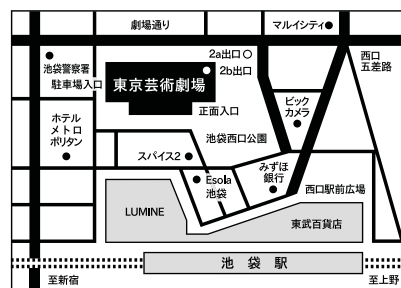
お問合せ 03-3981-7003

B2F・B3F 東京芸術劇場駐車場

利用料金 300円/30分

営業時間 7:00～24:00

お問合せ 03-6914-0019



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

開館時間 9:00～22:00 (休館日を除く)

お問合せ 03-5391-2111

JR、東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分。池袋駅地下通路の2b出口に直結しています。

〈東京芸術劇場パートナー企業・団体 ご芳名〉東京芸術劇場の年間運営事業に賛同し、ご支援くださっている皆さまです。

アサヒグループホールディングス株式会社

株式会社 資生堂

明光義塾

凸版印刷三幸会

レンゴー株式会社

東京地下鉄株式会社

株式会社 JTBコーポレートセールス

立教大学

丸茂電機株式会社

トヨタ自動車株式会社

西池袋熱供給株式会社

住友生命保険相互会社

三精テクノロジーズ株式会社

株式会社 松田平田設計

ホテルメトロポリタン

早稲田塾

株式会社フジテレビジョン

株式会社 WOWOW

東京臨海熱供給株式会社

株式会社 東京ビッグサイト

ソニー銀行株式会社

キヤノン株式会社

ヤマハサウンドシステム株式会社

株式会社 TBSテレビ

株式会社 松村電機製作所

渡邊建設株式会社

香山壽夫建築研究所

(2014年3月1日現在)